

南部スーダン
理数科教育強化プロジェクト
実施協議報告書

平成22年2月
(2010年)

独立行政法人国際協力機構
人間開発部

人間
JR
09-092

南部スーダン
理数科教育強化プロジェクト
実施協議報告書

平成22年2月
(2010年)

独立行政法人国際協力機構
人間開発部

序 文

スーダン共和国では、2005年に南北包括和平合意（Comprehensive Peace Agreement : CPA）が締結され、20年以上にわたる内戦が終結した。この CPA を受けて南部スーダンが自治権を獲得し、スーダン共和国統一政府の下で、2005年10月に南部スーダン政府が樹立され、南部地域（全10州）を管轄することとなった。南部スーダンでは、内戦終結後の早い段階から基礎教育の開発を重点課題としてとらえており、開発パートナーの支援を受けて、基礎教育のアクセスの改善や質の向上に向けた事業が実施されている。そして、教員の約65%が教員としての訓練を受けていないという状況では、特に教員の質の向上が喫緊の課題となっている。

そうしたなかで、日本は、2005年の CPA 締結直後からスーダン共和国に対し、ケニアでの第三国研修を通して理数科教授法の改善という面から教員の質の向上について支援を行ってきた。さらに、その後の短期専門家派遣や2度のフォローアップ協力を通して、南部スーダンにおける理数科分野の現職教員研修に関する人材育成やパイロット研修を実施してきた。

このような背景のもと、南部スーダン政府から日本に対し、これまでの支援を基礎に、初等理数科分野の現職教員研修支援について技術協力が要請された。

この要請を受けて独立行政法人国際協力機構は、2009年7月に詳細計画策定調査団を南部スーダンに派遣し、南部スーダン政府や関係機関と協力計画策定に関する協議を行い、同年10月に同政府と JICA スーダン駐在員事務所との間で、プロジェクト実施に関する討議議事録（Record of Discussions : R/D）を署名するに至った。

本報告書は、「南部スーダン理数科教育強化プロジェクト」の要請背景や案件形成の経過と概略を取りまとめたものであり、今後の本プロジェクトの実施や類似案件の形成にあたって活用されることを願う。

ここに、案件形成にご協力いただいた内外の関係者の方々にあらためて深い謝意を表するとともに、引き続き一層のご支援をお願いする次第である。

平成22年2月

独立行政法人国際協力機構
人間開発部長 萱島 信子

目 次

序 文
地 図
写 真
略語表

第1章 要請の背景	1
第2章 調査協議の経過と概略	3
2-1 詳細計画策定調査の実施	3
2-2 実施協議と討議議事録の署名	4
第3章 プロジェクト概要	5
第4章 事業事前評価表（技術協力プロジェクト）	9
付属資料	
1 詳細計画策定調査現地報告書	21
2 詳細計画策定調査に係る先方政府との協議議事録（M/M）	35
3 討議議事録（R/D）	60
4 南部スーダン教育概要	90

スーダン位置図



北部スーダン

南北スーダン境界線

南部スーダン

写 真



南部スーダン教育科学技術大臣への表敬



東エクアトリア州内中学校の視察



無償資金協力で建設中のジュバ教員養成校



教育科学技術省関係者との協議



東エクアトリア州内小学校の視察
(教室数の不足のため一部屋外で授業)



教育科学技術省次官とミニッツの署名

略 語 表

略語	正式名	日本語
BHN	Basic Human Needs	基礎生活向上
CDC	Curriculum Development Center	カリキュラム開発センター
CEC	County Education Centre	郡教育センター
CEMASTE	Centre for Mathematics, Science and Technology Education in Africa	アフリカ理数科・技術教育センター
CEPC	County Education Planning Committee	郡教育計画委員会
CPA	Comprehensive Peace Agreement	南北包括和平合意
GOSS	Government of Southern Sudan	南部スーダン政府
INSET	In-service Education and Training	現職教員研修
JCC	Joint Coordinating Committee	合同調整委員会
M&E	Monitoring and Evaluation	モニタリング・評価
M/M	Minutes of Meeting	協議議事録
M/S	Mathematics and Science	理数科
MOEST	Ministry of Education, Science and Technology	教育科学技術省
NTTI	National Teacher Training Institute	国立教員養成校
NT	National Trainer	中央研修講師
R/D	Record of Discussion	討議議事録
SECC	State Education Coordination Committee	州教育調整委員会
SMOE	State Ministry of Education	州教育省
SMASE	Strengthening Mathematics and Science Education (Kenya)	(ケニア)理数科教育強化(プロジェクト)
SMASESS	Strengthening of Mathematics and Science Education in Southern Sudan	南部スーダン理数科教育強化(プロジェクト)
SMASSE	Strengthening Mathematics and Science in Secondary Education (Kenya)	(ケニア)中等理数科教育強化(プロジェクト)
SMASE-WECSA	Strengthening Mathematics and Science Education in West, East, Central, and Southern Africa	理数科教育強化・アフリカ域内ネットワーク
ST	State Trainer	州研修講師
TICAD	Tokyo International Conference on African Development	アフリカ開発会議
TTI	Teacher Training Institute	教員養成校
UNICEF	The United Nations Children's Fund	国連児童基金

第1章 要請の背景

スーダン共和国（以下、「スーダン」と記す）の南部スーダンでは、2005年の南北包括和平合意（Comprehensive Peace Agreement : CPA）後、国連児童基金（The United Nations Children's Fund : UNICEF）等の支援を受け急激に就学者が増加しており、2006年に約70万人であった初等就学者は2008年には約130万人となっている¹。一方で、増加する就学者に対して学校などの教育インフラや教員が不足するとともに、現在教壇に立っている教員の約65%が教員としての訓練を全く受けておらず、訓練を受けた者であっても正式な教員養成課程を経た者は少なく、教科内容の理解や教授法の習得が十分でない教員が多い。このように、教員の質の低さも大きな課題となっている。

こうしたなかで、現職教員に対して研修の機会を提供し、教員の継続的な職能開発に取り組むことが喫緊の課題となっている。特に理数科については、資格の有無にかかわらず教員の知識・指導力不足が顕在化しており、理数科分野の現職教員研修（In-service Education and Training : INSET）に対するニーズは高い。

このような状況を受けて、JICAは2008年7月より短期専門家派遣やそのフォローアップ事業を通して、南部スーダンにおける初等理数科教育分野の現職教員研修に対して支援を行ってきた。その結果、この分野の中核人材の育成や研修マニュアルの作成、パイロット研修の実施などで一定の成果を上げており、南部スーダン政府からも高い評価を得ている。

他方で、以下のような課題が依然として残っており、今後取り組んでいくことが求められている。

- (1) 中央の教育科学技術省（Ministry of Education, Science and Technology : MOEST）内に教員研修全般を所掌する部局はあるが、南部全州における理数科分野の現職教員研修事業を統括・監督するだけの体制になっておらず、研修実施・運営能力も十分ではない。
- (2) これまでの協力のなかで、州レベルの研修講師が選定され、短期的な研修が実施されたが、資格要件を満たさない講師がいて、研修講師としての能力も十分ではない。
- (3) 現職教員研修に関する政策がきちんと整備されておらず、さまざまな教員研修が乱立している状況である。今後、新規教員養成も含めた教師教育の全体のあり方について見直しを行う必要がある。
- (4) 南部スーダンにおいて教員の質が低いことの根本には、新規教員養成課程が十分に機能しておらず、教員としての訓練を全く受けないまま教壇に立つ教員が多数を占めていることにある。今後、初等教員の理数科の指導力を高めるためには、現職教員研修の制度化と並行して、新規教員養成課程の改善にも着手する必要がある。具体的には、教員養成校（Teacher Training Institute : TTI）の建設や養成校教官の能力強化が喫緊の課題となっている。

こうした背景のもと、南部スーダン政府より理数科分野現職教員研修支援の技術協力プロジェクトが要請された。

¹ 2006年：UNICEFの学習スペース迅速評価（Rapid Assessment of Learning Spaces : RALS）。2008年：南部スーダン政府の教育管理情報システム教育統計（EMIS Education Statistics 2008）

南部スーダンにおける理数科教育支援に係る経緯

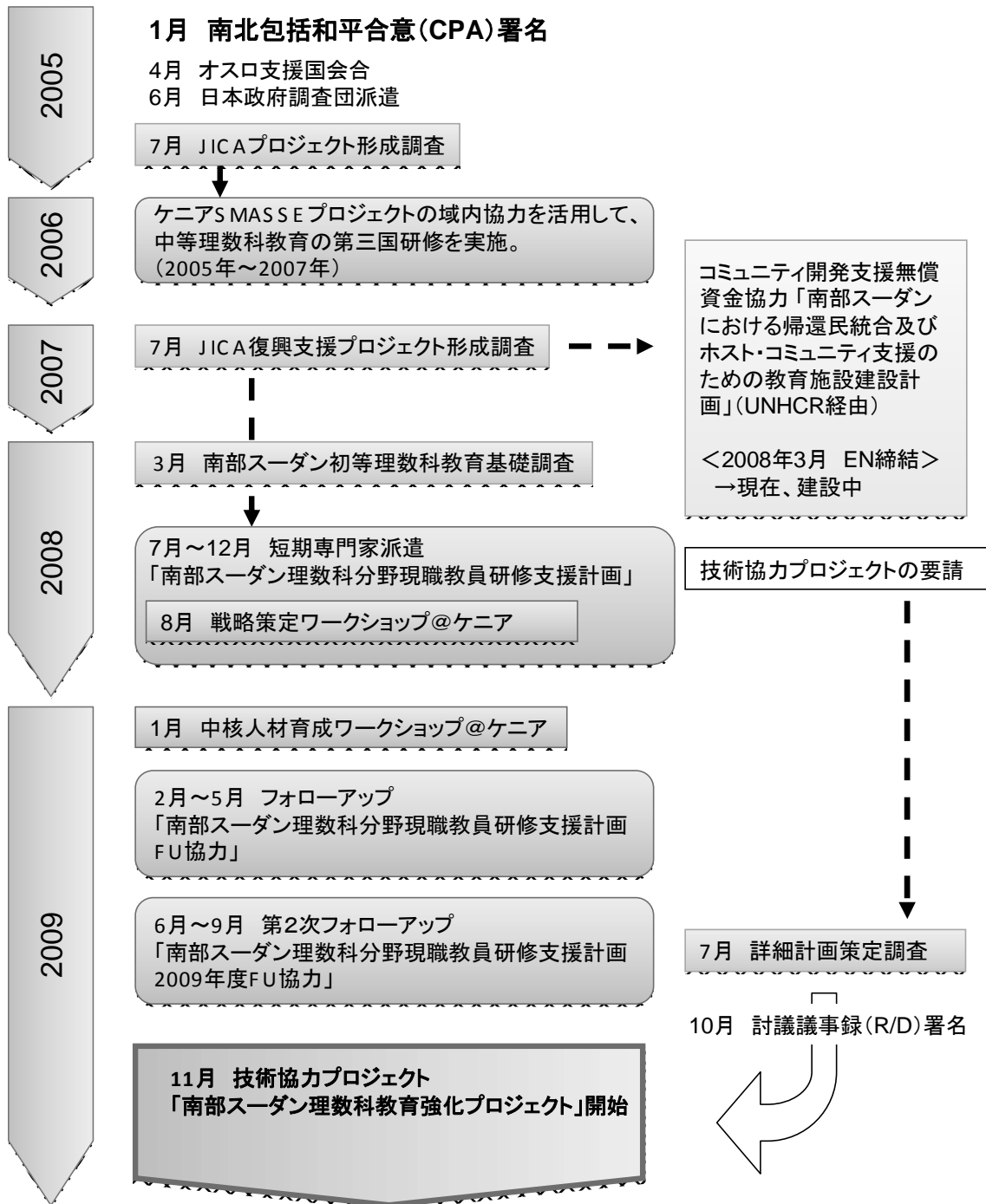


図-1 南部スーダンにおける理数科教育支援に係る経緯

第2章 調査協議の経過と概略

2-1 詳細計画策定調査の実施

本プロジェクトの形成にあたり、2009年7月6日から7月15日にかけて詳細計画策定調査を実施した。調査の概略は以下のとおり。詳細な調査結果については、付属資料1の現地報告書に記載。

調査期間	2009年7月6日～7月15日
派遣の目的	<ul style="list-style-type: none"> 要請内容を確認するとともに、南部スーダンにおける教員研修と教員養成の現状や先方政府の今後の展望について情報収集を行う。 プロジェクトのデザイン（目標、成果、活動、協力期間、対象地域、実施体制、活動内容、必要経費など）に関して、当方案に基づき協議を行い、先方政府との合意形成を図る。 南部スーダンの教育セクターを支援する他ドナーに対して JICA プロジェクトの方向性を説明するとともに、今後の役割分担・連携の方向性について意見交換を行う。
団員構成	<ul style="list-style-type: none"> 団長/総括：石原 伸一（JICA 人間開発部基礎教育第二課 課長） 教員研修：松本 知子（JICA 人間開発部基礎教育第二課 ジュニア専門員） 広域協力：長沼 啓一（ケニア理数科教育強化プロジェクト 専門家） 理数科教育：Ndelela Masoka（アフリカ理数科・技術教育センター 中央研修講師） 協力企画：徳田 真人（JICA 人間開発部基礎教育第二課 職員）
摘要	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの基本的枠組みについて南部スーダン教育省と合意。 南部スーダン教育省から、プロジェクトの名称について、要請書に記載のものから「南部スーダン理数科教育強化プロジェクト」（Strengthening Mathematics and Science Education in Southern Sudan：SMASESS）に変更したい旨の要望あり。 2009年9月までに、南部スーダン政府が中央 SMASESS ユニットを設置し、常勤の中央研修講師（National Trainer：NT）4名と常勤のコーディネーターを配属することで合意。 南部スーダン全10州の中から理数科分野現職教員研修のモデル制度を構築するための「モデル州」を設定することを合意。また、①モデル州の選定については、各州政府の教員研修に対する積極性を重視することとし、プロジェクトの開始時点では、これまでに教員研修に対する州政府のイニシアティブが確認できた² Warrap 州と Eastern Equatoria 州の2州をモデル州として設定すること、②プロジェクト開始から1年後に当方と先方で合同調整委員会

² Warrap 州と Eastern Equatoria 州では、JICA の支援による中核人材育成ワークショップ（2009年1～2月）を受けて、州政府が独自に予算を確保して現職教員研修を実施した（詳細計画策定調査実施時点ではこの2州のみ）。

	<p>(Joint Coordinating Committee : JCC) を開催し、プロジェクトの進捗状況や他の州の教員研修への取り組み状況を勘案して、モデル州の追加について検討することを確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトの経費負担について、①研修講師の交通費（一部）や宿泊代などについては JICA が負担すること、②プロジェクト事務所については先方政府が用意する用地に、JICA 負担で事務所を設置するとすることで合意。 ・ 本プロジェクトの枠組みの中で、新規教員養成課程の改善に向けて教員養成校の教官に対して理数科分野研修を実施すること、また、プロジェクトで開発する理数科分野のカリキュラムや教材の他の教員研修（新規教員養成や他ドナー支援の教員研修）への活用を検討することで合意。 <p>※南部スーダン政府との協議議事録（Minutes of Meeting : M/M）は付属資料 2 として添付。</p>
--	--

2-2 実施協議と討議議事録の署名

詳細計画策定調査の結果を踏まえ、JICA スーダン駐在員事務所を通じてプロジェクトの詳細について先方と更に実施協議を重ね、プロジェクト実施について合意に至った。合意内容は討議議事録（Record of Discussions: R/D）にまとめられ、2009年10月に JICA スーダン駐在員事務所長と南部スーダン政府教育科学技術大臣の間で署名が交わされた（署名済みの R/D を付属資料 3 として添付）。

なお、モデル州について、南部スーダン MOEST からの要望に基づき、改めて以下のように合意（R/D の「XI.MODEL STATES」に記載）。

- 1) モデル州として、南部スーダンの 3 地域（Greater Upper Nile 地域、 Greater Bahr El Ghazal 地域、 Greater Equatoria 地域）から 1 州ずつ計 3 州を選定。
- 2) モデル州の選定に際しては、南部スーダン MOEST が定める基準に基づいて行う。
- 3) モデル州の追加については、プロジェクトの進捗状況を鑑みて合同調整委員会で検討する（現時点では、プロジェクト開始 1 年後に開催することを想定）。

第3章 プロジェクト概要

(1) プロジェクト概要

本プロジェクトは、南部スーダンにおいて初等理数科分野の現職教員研修を実施できる中核人材の能力強化を図るとともに、体系的に研修が実施できるモデル構築を支援することによって、初等教員の理数科指導力の向上をめざすものである。併せて、教員研修に関する政策支援や新規教員養成校教官の能力向上支援も視野に入れ、初等理数科教育の基盤強化を図っていく。

(2) プロジェクト期間

2009年11月23日から2012年11月22日までの3年間

(3) 協力相手先機関

南部スーダン政府 教育科学技術省

(4) 対象地域

ジュバ市と「モデル州」と設定された州

(5) プロジェクト目標・成果

<上位目標>

初等教員の理数科分野の指導力が向上する。

<プロジェクト目標>

モデル教員の理数科分野の指導力が向上する。

<成果>

- ①中央と州レベルにおいて理数科分野現職教員研修を実施するための体制が確立する。
- ②州研修講師の能力が強化される。
- ③モデル州においてモデル教員に対する理数科分野の研修実施体制が機能する。
- ④教員研修政策と理数科分野現職教員研修に対する支援体制が強化される。

(6) 投 入

【日本側】

- ・ 長期専門家：2名（チーフアドバイザー／教員研修政策、現職教員研修マネジメント）
- ・ 短期専門家：必要に応じて派遣（理数科教育など）
- ・ 機材供与：コンピュータ、印刷機、車両など
- ・ プロジェクト事務所整備
- ・ 本邦研修、第三国研修
- ・ ローカルコスト（教材費、宿泊費、交通費の一部、研修会場の改修費など）

【南部スーダン側】

- ・ 中央研修講師（NT）、コーディネーター
- ・ 州研修講師（State Trainer: ST）、中央研修講師の日当や交通費の一部
- ・ プロジェクト事務所用の土地
- ・ 光熱費
- ・ 国内での研修会場

（7） プロジェクト実施体制

教育科学技術省内に設置された「中央現職教員研修ユニット」（SMASESS ユニット）がプロジェクト活動を総括する。この SMASESS ユニットは、常勤及び非常勤の中央研修講師とコーディネーターで構成される。その他、中央レベルでは中央運営委員会、中央技術委員会、州レベルでは州教育調整委員会、郡教育計画委員会（County Education Planning Committee : CEPC）がプロジェクト運営に関与する。年に一度、日本・南部スーダン側双方で JCC を開催する予定。

（8） 研修実施体制

以下のような研修講師と教員を選出し、中央研修講師→州研修講師、州研修講師→モデル教員という流れで研修を実施する。

1) 中央研修講師

中央レベルで、理数科分野教員研修を計画・実施・評価する。

2) 州研修講師

南部スーダン全 10 州からそれぞれ理科教員 3 名、数学教員 3 名、視学官 1 名の計 7 名を州研修講師として選出する。

3) モデル教員

モデル州それぞれにおいて 150 名程度の教員をモデル教員として選出する。彼らは、郡（County）レベルの理数科教育における指導教員として、他の教員に対して指導・助言を行うことが期待されている。

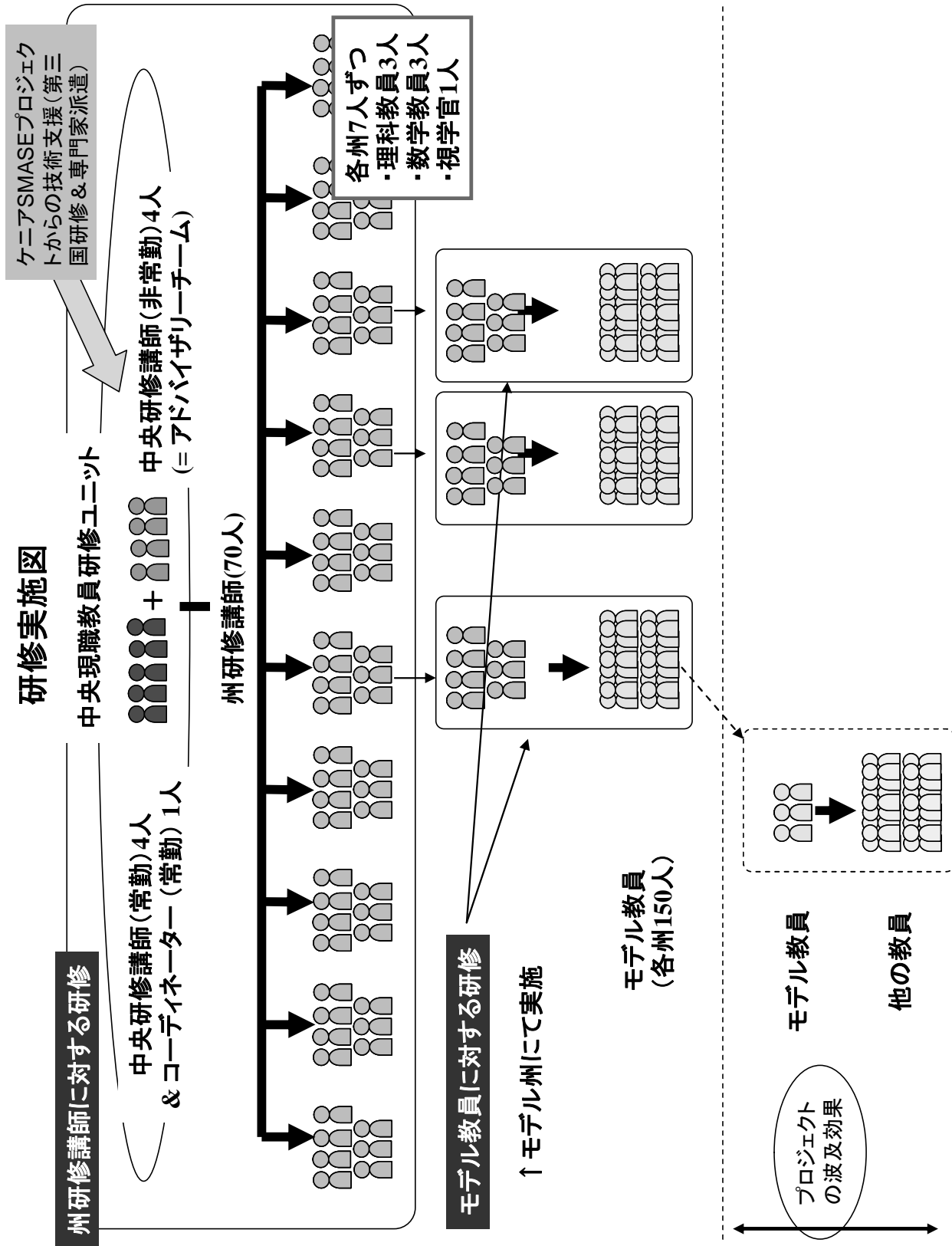


図-2 研修実施図

上位目標

初等教員の理数科分野の指導力が向上する

プロジェクト目標

モデル教員の理数科分野の指導力が向上する

成果1:
中央レベルに理数科分野現職教員研修を実施するための体制が確立する

- 1-1 中央研修講師、コーディネーター、州研修講師のTORと選定基準を設定する
- 1-2 中央現職教員研修ユニットの事務所を整備する
- 1-3 常勤の中央研修講師及びコーディネーターを配置する
- 1-4 アドバイザーチームとして非常勤の中央研修講師を配置する
- 1-5 中央研修講師への研修を実施する
- 1-6 各州教育省が州研修講師を選定する

成果2:
州研修講師の能力が強化される

- 2-1 中央研修講師が州研修講師向けの研修教材を開発する
- 2-2 中央研修講師が州研修講師向けの研修モニタリング・評価ツールを開発する
- 2-3 中央研修講師が州研修講師に対して研修を実施する
- 2-4 中央研修講師が州研修講師向けの研修についてモニタリング・評価を実施する

成果3:
モデル州においてモデル教員に対する理数科分野の研修実施体制が機能する

- 3-1 中央現職教員研修ユニットがモデル州の選定基準を設定し、同州を選定する
- 3-2 各州政府がモデル教員の選定基準を設定し、同教員を選定する
- 3-3 中央研修講師がモデル州においてニーズ調査を実施する
- 3-4 中央研修講師がモデル教員向けの研修教材を開発する
- 3-5 中央研修講師がモデル教員向けの研修モニタリング・評価ツールを開発する
- 3-6 中央現職教員研修ユニットがモデル教員向けの教材を印刷・製本し、モデル州に配布する
- 3-7 州研修講師がモデル教員向けの研修を実施する
- 3-8 中央研修講師がモデル教員向けの研修についてモニタリング・評価を実施する

成果4:
教員研修政策及び理数科分野現職教員に対する支援体制が強化される

- 4-1 教員研修に係る現行の政策・計画をレビューする。
- 4-2 教員研修に係る他の事業とも調整をしながら、教員研修に係る政策・計画策定を支援する
- 4-3 中央研修講師が教員養成校の教官に対する研修を実施する
- 4-4 初等学校校長やその他の関係者に対して啓発ワークショップを実施する
- 4-5 メディア等を通じプロジェクト活動の広報を推進する

図-3 PDM（プロジェクト開始時）

第4章 事業事前評価表（技術協力プロジェクト）

4-1 案件名

（和文）南部スーダン理数科教育強化プロジェクト

4-2 協力概要

（1）プロジェクト目標とアウトプットを中心とした概要の記述

スーダン共和国の南部スーダンでは、2005年の南北包括和平合意（CPA）後、国連児童基金（UNICEF）等の支援を受け急激に就学者数が増加しており、2006年に約70万人であった初等就学者は2008年には約130万人となっている³。一方で、増加する就学者数に対して学校などの教育インフラや教員が不足するとともに、現在教壇に立っている教員の約65%が教員としての研修を全く受けておらず、研修を受けた者であっても正式な教員養成課程を経たものは少なく、教科内容の理解や教授法の習得が十分でない教員が多い。

このように教員の質の低さが大きな課題となっているなかで、UNICEF等は基本的な教授技術を身に付けるための緊急措置的な研修を実施しており、また世界銀行が管理するマルチドナー・トラスト・ファンドは教員研修を受けていない教員を対象とした資格付与型教員研修の拡充を図っている。一方、教員が継続的に職能開発を行う機会が極めて限られており、教員の長期的・継続的な職能成長に資する教員研修が求められている。理数科教育に関しては、資格の有無にかかわらず教員の知識・指導力不足が顕在化しており、理数科教育にあたる教員の指導力向上が求められている。

このような状況を踏まえて、JICAは理数科分野での継続的な現職教員研修（INSET）に関して支援を行ってきた。2008年7月から、短期専門家派遣や2度のフォローアップ協力を通して、ケニア理数科教育強化（Strengthening of Mathematics and Science Education : SMASE）プロジェクトとも連携しながら、この分野の中核人材の育成（行政官やトレーナー候補者）や研修マニュアルの作成、パイロット研修の実施などで一定の成果を上げており、南部スーダン政府（Government of Southern Sudan : GOSS）からも高い評価を得ている。

こうしたなかで、初等理数科教育分野の現職教員研修の本格実施に向けて、2008年に南部スーダン政府から日本に対して技術協力プロジェクトの要請を受けた。これを受け、2009年7月に詳細計画策定調査を実施し、先方政府とプロジェクトの枠組みなどについて協議を行った。

本プロジェクトでは、初等理数科分野の現職教員研修を実施できる中核人材の能力強化を図るとともに、体系的に研修が実施できるモデル構築を支援することによって、初等教員の理数科指導力の向上をめざすものである。併せて、教員研修に関する政策支援や新規教員養成校教官の能力向上支援も視野に入れ、初等理数科教育の基盤強化を図っていくことをめざすものである。

（2）協力期間

2009年11月～2012年10月（3年間）

³ 2006年についてはUNICEFの学習スペース迅速評価（Rapid Assessment of Learning Spaces : RALS）を、2008年については、南部スーダン教育科学技術省の教育管理情報システム教育統計（EMIS Education Statistics 2008）を参照。

(3) 協力総額（日本側）

約 3.5 億円

(4) 協力相手先機関

南部スーダン政府 教育科学技術省

(5) 国内協力機関

なし

(6) 裨益対象者及び規模、等

【裨益対象者】中央研修講師（常勤及び非常勤）・コーディネーター 9名

州研修講師 70名

モデル教員 約 450名

【対象地域】ジュバ市とモデル3州⁴

4-3 協力の必要性・位置づけ

(1) 現状と問題点

南部スーダンにおける初等理数科分野の現職教員研修に関する課題としては以下の点が挙げられ、今後改善に向けて取り組んでいくことが求められている。

- ・中央の教育科学技術省内に教員研修全般を所掌する部局はあるが、南部全州における理数科分野の現職教員研修事業を統括・監督するだけの体制になっておらず、研修実施運営能力に課題がある。
- ・これまでの協力のなかで、州レベルの研修講師が選定され、州政府独自の取り組みとして、短期間のパイロット研修が試行されたが、研修講師の能力や資格に課題が見受けられる。
- ・州によっては、州政府の現職教員研修の意義・重要性に対する理解が十分とはいえず、州研修講師の選定やパイロット研修の実施の際に十分な支援を得られない場合が見受けられた。
- ・教員研修に関する政策・計画が策定中の段階にあり、さまざまな教員研修事業が乱立している状況にある。今後、教員研修全体の計画策定支援の視野に入れつつ、他援助機関とも調整のうえ、協力を進めていく必要がある。
- ・南部スーダンにおいて教員の質が低い大きな要因としては、新規教員養成課程が十分に機能しておらず、教員としての適切な教育を受けないまま教壇に立つ教員が極めて多数を占めていることにある。今後、初等教員の理数科の指導力を高めるためには、現職教員研修の制度化と並行して、新規教員養成課程の改善も取り組んでいく必要があり、具体的には、教員養成校の建設や養成校教官の能力強化が喫緊の課題となっている。

⁴ モデル州については、プロジェクトの進捗状況や各州のオーナーシップ・実施体制、治安状況等を鑑みて協力期間中に拡大・縮小する可能性がある。

(2) 相手国政府国家政策上の位置づけ

南部スーダン政府が2008年4月に策定した「優先支出事項及び資金需要」(Expenditure Priorities & Funding Needs)において、2008～2011年の期間に優先的に取り組む6つの課題の1つとして基礎教育が位置づけられており、さらに教員研修に関して研修を受けた教員の割合を増加させることが目標とされている。また、南部スーダン政府の2010～2012年の教育セクター予算計画案において、「教員研修」が最重要課題の1つとして位置づけられている。

さらに、教育科学技術省の政策ビジョン(Policy Framework)として、教員の質を改善し、科学とテクノロジーへのアクセスと日常生活での応用を推進することが目標とされており、これに向けての戦略として、教材開発、基礎教育の強化、質の高いカリキュラム開発が掲げられている。

(3) わが国援助政策との関連、JICA 国別事業実施計画の位置づけ(プログラムにおける位置づけ)

JICA の対スーダン国別事業実施計画において基礎生活向上(BHN)支援が援助重点分野として掲げられており、本プロジェクトは其中において「基礎教育・職業訓練支援プログラム」の一事業として位置づけられている。

2008年5月に横浜で開催された第4回アフリカ開発会議(Tokyo International Conference on African Development: TICADIV)で策定された「横浜行動計画」において、「アフリカ地域で10万人を対象とした教員研修の実施する」という具体的な目標が掲げられており、本プロジェクトはこの目標の達成に貢献する事業として位置づけられる。

4-4 協力の枠組み

[主な項目]

(1) 協力の目標(アウトカム)

1) 協力終了時の達成目標(プロジェクト目標)と指標・目標値

【プロジェクト目標】

モデル教員の理数科分野の指導力が向上する。

<指標・目標値>

ケニア SMASE プロジェクトで開発された以下の指標をスーダン用に部分的に改良して⁵、モデル教員の指導力の向上を確認する(目標値についてはニーズ調査後、設定する)。

- ・ 授業改善指標⁶
- ・ 授業観察指標⁷
- ・ ASEI-PDSI チェックリスト⁸

⁵ 同プロジェクトでは、教員の態度の変化、教授法の質の向上などに関してモニタリング・評価指標を開発しており、他の類似プロジェクトにおいても同指標が活用されている。いずれの指標も個々の質問に0-4の5段階で評価する。

⁶ 「授業改善指標」(Lesson Innovation Index)とは、授業に対する教員の態度や考え方がどのように変化したかを測るツール。授業の目的、考え方の質、学習の質などに関する教員の意識や考え方を教員自身に尋ねるもの。

⁷ 「授業観察指標」(Lesson Observation Index)は、「授業目標が適切に示されているか」、「黒板の使い方は適切か」、「すべての生徒が活動に参加するように目を配っているか」などの点について、中央研修講師が授業の質を評価するもの。

⁸ 「ASEI-PDSI チェックリスト」は、授業中の生徒の活動(Activities)、生徒中心(Student-centered)、実習活動(Experiment)、工夫(Improvisation)の観点から授業の質を測るとともに、教員の授業に対する取り組み方について、計画(Plan)－実施(Do)－振り返り(See)－改善(Improvement)といった行動様式がとられているかを測るもの。

2) 協力終了後に達成が期待される目標（上位目標）と指標・目標値

【上位目標】

初等教員の理数科分野の指導力が向上する。

<指標・目標値>

プロジェクト目標の指標と同じものを用いて、モデル州の初等教員の理数科に係る指導力の向上を測定する（サンプル調査）。

(2) 成果（アウトプット）と活動

①成果1：中央と州レベルにおいて理数科分野現職教員研修を実施するための体制が確立する。

[指標・目標値]

- ・ 8名の中央研修講師（常勤・非常勤）が育成される。
- ・ 常勤の中央研修講師4名とコーディネーター1名がプロジェクト活動に従事する。
- ・ 70名の州研修講師がプロジェクト活動に従事する。

[活動]

- 1-1 中央研修講師、コーディネーター、州研修講師のTORと選定基準を設定する
- 1-2 中央現職教員研修ユニットの事務所を整備する
- 1-3 常勤の中央研修講師とコーディネーターを配置する
- 1-4 アドバイザリーチームとして非常勤の中央研修講師を配置する
- 1-5 中央研修講師への研修を実施する
- 1-6 各州教育省が州研修講師を選定する

②成果2：州研修講師の能力が強化される

[指標・目標値]

- ・ 70名の州研修講師が育成される。
- ・ 研修実施能力指標で研修の質を測る（本指標開発後、目標指標を設定する）

[活動]

- 2-1 中央研修講師が州研修講師向けの研修教材を改良・開発する
- 2-2 中央研修講師が州研修講師向けの研修モニタリング・評価ツールを開発する
- 2-3 中央研修講師が州研修講師に対して研修を実施する
- 2-4 中央研修講師が州研修講師向けの研修についてモニタリング・評価を実施する

③成果3：モデル州においてモデル教員に対する理数科分野の研修実施体制が機能する

[指標・目標値]

- ・ 3回分のモデル教員向けの研修教材が開発される。
- ・ モデル教員向けの研修の質を確認するための「研修実施能力指標」、モデル教員の指導力を測る「授業改善指標」「授業観察指標」「ASEI-PDSI チェックリスト」が開発される。
- ・ モデル教員に対する研修が3回実施される。
- ・ 研修実施能力指標でモデル教員向けの研修の質を測る（本指標開発後、目標指標を

設定する)

[活動]

- 3-1 中央現職教員研修ユニットがモデル州の選定基準を設定し、同州を選定する
- 3-2 各州政府がモデル教員の選定基準を設定し、同教員を選定する
- 3-3 中央研修講師がモデル州においてニーズ調査を実施する
- 3-4 中央研修講師がモデル教員向けの研修教材を開発する
- 3-5 中央研修講師がモデル教員向けの研修モニタリング・評価ツールを開発する
- 3-6 中央現職教員研修ユニットがモデル教員向けの教材を印刷・製本し、モデル州に配布する
- 3-7 州研修講師がモデル教員向けの研修を実施する
- 3-8 中央研修講師がモデル教員向けの研修についてモニタリング・評価を実施する

④成果4：教員研修政策と理数科分野の現職教員研修に対する支援体制が強化される

[指標・目標値]

- ・ 本プロジェクトの活動と経験が教員研修政策やプログラムに組み込まれる。
- ・ 啓発ワークショップに3年間で延べ600名以上が参加する。
- ・ 30名の教員養成校の理数科担当教官が育成される。
- ・ ニュースレターが6回以上、発行される。

[活動]

- 4-1 教員研修に係る現行の政策・計画をレビューする。
- 4-2 教員研修に係る他の事業とも調整をしながら、教員研修に係る政策・計画策定を支援する
- 4-3 中央研修講師が教員養成校の教官に対する研修を実施する
- 4-4 初等学校校長やその他の関係者に対して啓発ワークショップを実施する
- 4-5 メディア等を通じプロジェクト活動の広報を推進する。

(3) 投入（インプット）

①日本側（総額 350,000 千円）

- ・ 長期専門家：2名（教員研修政策、現職教員研修マネジメント）
- ・ 短期専門家：必要に応じて派遣（理数科教育など）
- ・ 機材供与：コンピュータ、印刷機、車両など
- ・ プロジェクト事務所整備
- ・ 本邦研修、第三国研修
- ・ ローカルコスト（教材費、宿泊費、交通費の一部、研修会場の改修費など）

②南部スーダン政府側（総額 53,000 千円）

- ・ 中央研修講師、コーディネーター
- ・ 州研修講師、中央研修講師の日当や交通費の一部
- ・ プロジェクト事務所用の土地
- ・ 光熱費

- ・ 国内での研修会場

(4) 外部要因（満たされるべき外部条件）

1) プロジェクトの前提条件

- ・ 南部スーダン政府及び州教育省の教員研修に係る政策が変更されない。

2) プロジェクト実施上の外部条件

上位目標を達成するための外部条件

- ・ モデル教員が研修で得た内容を他の教員に対して普及する。

プロジェクト目標を達成するための外部条件

- ・ モデル教員が教職を離職しない。
- ・ 南部スーダン政府の歳入が大幅に減少しない。
- ・ 総選挙や住民投票などがプロジェクトの進捗に影響を与えない。
- ・ 政府関係者の人事異動が頻繁に起きない。

期待される成果が達成されるための外部条件

- ・ 中央及び州研修講師が辞職しない。
- ・ 南部スーダン政府が負担する費用の支払いが滞りなく行われる。
- ・ 理数科教育強化・アフリカ域内ネットワーク（Strengthening Mathematics and Science Education in West, East, Central, and Southern Africa : SMASE-WECSA）が本プロジェクトへの 支援を継続する。

4-5 評価5項目による評価結果

(1) 妥当性

本案件は以下の理由から妥当性が高いと判断できる。

- ・ 南部スーダンにおいては教員の約 65%が教員としての研修を全く受けておらず、研修を受けた者であっても正式な教員養成課程を経た者は少ないことから、教員研修を通じた教員の質の改善が重要課題と位置づけられている。また、南部スーダン政府は科学技術の振興に向けた教育制度の整備を検討しており、基礎教育における理数科教育の促進をめざしている。このように理数科分野の教員研修は南部スーダンのニーズに合致しているといえる。
- ・ 本プロジェクトでは教員研修を受けた経験のある教員に対して継続的な職能開発の機会を提供することをめざしており、UNICEF 等が実施する緊急措置的な教員研修や世界銀行が管理するマルチドナー・トラスト・ファンドが支援する資格付与型教員研修と相互補完的に作用することによって、南部スーダンにおける教員の質の向上に向けたシナジー効果が期待できる。
- ・ 南部スーダンの 2010～2012 年の教育分野のセクター予算計画案において、「学習環境改善」「代替教育制度の促進」「教師教育・開発」「教育関係者の能力強化」が優先課題とされており、このなかでも「教師教育」と「学習環境の改善」の重要性がうたわれている。
- ・ JICA の対スーダン重点支援分野として基礎生活向上（BHN）の支援が掲げられており、本プロジェクトはそのなかで「基礎教育・職業訓練支援プログラム」の一事業として位置づけられている。2008 年 5 月に横浜で開催された第 4 回アフリカ開発会議（TICAD

IV) で策定された「横浜行動計画」において、「アフリカ地域で10万人を対象とした教員研修の実施する」という具体的な目標が掲げられており、本プロジェクトはこの目標の達成に貢献する事業として位置づけられる。

- ・ 本プロジェクトにおいては教員研修事業に対する州政府のイニシアティブが確認できる州をモデル州として設定する予定であり、現職教員研修に関するモデル制度構築を図る州としては適切である。

(2) 有効性

本案件は以下の理由から有効性が見込まれる。

- ・ モデル教員の指導力向上のためには、同教員に対して効果的な研修を継続的に実施していく必要があるが、そのためには中央レベルに現職教員研修を総括する組織を設置することや、中央・州レベルの研修講師を選定し、その能力強化を行うことが前提となる。その意味で、実施体制の構築（成果1）、州研修講師の能力強化（成果2）、モデル教員への研修実施（成果3）という組み合わせはプロジェクト目標の達成のために不可欠である。
- ・ 現職教員研修が円滑に実施されるためには、教員研修に関する政策が整備されることや教員をとりまく関係者が教員研修の意義を理解し、支援を行うことも必要である。その意味で、教員研修実施のための支援体制の構築（成果4）を組み入れることはプロジェクト目標の達成のために有効である。

(3) 効率性

本案件は以下の理由から効率的な実施が見込まれる。

- ・ JICA はアフリカ地域で理数科分野の協力経験を蓄積しており、ケニア SMASE プロジェクトを中心としてアフリカ域内協力を展開している。本案件は、この既存の知識・経験のネットワークを活用することにより、効率的に実施することが可能である。
- ・ 今回、南部スーダン内の研修場所として既存の初等学校や教員養成校を活用するため、新規に建物を建設する必要はない。

(4) インパクト

本案件のインパクトは以下のように予測できる。

- ・ プロジェクト目標であるモデル教員の能力強化が達成されれば、州政府や各初等学校のイニシアティブによってモデル教員から他の初等教員への知識・技術の指導・共有が行われ、上位目標「初等教員の理数科分野の指導力が向上する」が実現することが期待できる。その理由としては、1) モデル教員を他の初等教員のメンター（指導教員）として位置づけていること、2) 活動のなかに校長や他の教育関係者への啓発ワークショップを組み入れており、モデル教員が各校で指導活動を行ううえでの支援体制が整うことが見込まれること、3) 2009年詳細計画策定調査時に地方の教育現場を視察した際、研修を受けた教員が研修後に所属学校内で他の教員に対して指導を行っている事例が確認されていること、が挙げられる。
- ・ 本案件により開発される理数科分野の現職教員研修の教材やモニタリング・評価が、南

部スーダン内で実施される他の教員研修プログラム(資格付与型現職教員研修や新規教員養成)に活用されることが見込まれている。この点について、南部スーダン政府の意向を確認しており、本案件の活動計画にもこのインパクトを促進する活動が組み込まれている(成果4内の活動)。日本はコミュニティ開発無償(UANHCR 経由)によって教員養成校や付属校の建設を行っており、同案件と連携することによって、新規教員養成課程への波及効果が期待できる。

- ・ 本案件によりモデル州における初等教員の理数科教員の指導力が向上すれば、それが引き金となり、他の州における教員研修に対する意識や積極性が高まることが期待できる。
- ・ 理数科分野の現職教員研修のモデル制度が確立すれば、このモデルを参考にして他の教科の現職教員研修の制度化も可能となる。

(5) 自立発展性

以下のとおり、政策面や技術面の観点からは自立発展性が見込まれるが、財政面・組織面に自立発展性が阻害される要因がみられる。

【政策面】 今後、本案件の実施と並行して南部スーダン政府内で教員研修に関する政策がレビューされることが見込まれており、本案件がその政策のなかに明確に位置づけられることが期待できる。

【技術面】 モデル州における州研修講師からモデル教員へ研修を行う際に、南部スーダン政府が現職教員研修の拠点として計画している郡教育センター(County Education Centre: CEC)を可能な限り活用する予定である。CECは現在他ドナーの支援によってハード面・ソフト面で整備が進められており、今後CECが機能していけば、各州における一般教員への技術普及が円滑に実施されると期待できる。

【財政面】 2010～2012年の予算計画案においては、先方教育科学技術省の予算に本プロジェクトに関する経費が計上されており、今後承認される予定である。また、研修講師の日当や交通費の一部について先方負担事項としており、この点は自立発展性に貢献する要因である。他方で、南部スーダンの政府の歳入は原油の収入に大きく依存しているため、原油価格が大幅に下落すれば予算が配賦されない可能性がある。

【組織面】

- ・ モデル州の選定基準の一つとして、「2008年7月～2009年5月の間実施した短期専門家派遣やフォローアップ協力を受けて、各々の州のイニシアティブの下でパイロット教員研修を実施している」という基準を設けることを想定しており、教員研修に対する主体性・積極性が高い州がモデル州として選定されることとなっている。
- ・ 本案件では中央政府レベルと州政府レベルにおいて、理数科の現職教員研修を実施するうえで必要な体制づくりを予定していることから、組織面での自立発展性は事業を通して確保されることが期待できる。
- ・ プロジェクト活動に州の教育関係者(行政官や校長など)に対する啓発ワークショップを組み込むことで、中央のみならず州レベルにおいて理数科現職教員研修に対する主体性・積極性を醸成する仕組みとなっており、プロジェクト終了後も州教育関係者の支援により、州レベルで理数科現職教員研修が継続実施されることが期待できる。

- ・ 2010年4月ごろに大統領選挙や中央・地方での総選挙が、2011年には南部の独立を問う住民投票が予定されており、プロジェクト期間中に政治体制が大きく変わり、その影響を受けて現在想定しているプロジェクト実施体制に影響を受ける可能性がある。

4-6 貧困・ジェンダー・環境等への配慮

本案件では、以下のようにジェンダーや平和構築を考慮した枠組みとしている。

- ・ 研修講師の選定方法のなかに、ジェンダーバランスを考慮する点を盛り込んでいる。
- ・ モデル州の選定の際には、地域的な偏りがないように留意する。

4-7 過去の類似案件からの教訓の活用

アフリカ地域では、理数科教育改善をめざした SMASE 関連プロジェクトが 10 カ国で展開中（2009年7月末現在）であり、それらの類似プロジェクトで得られた教訓が本プロジェクトの計画においても活用されている。具体的には以下のとおり。

- ・ （教訓）アフリカにおける教育改善のアプローチとして、現職教員を通じて教員の態度変容を図り、彼らの教室現場における教授手法を改善することが有効であること。
（活用方法）授業改善方法に主眼を置いた現職教員研修を実施予定。
- ・ 第三国のリソースを活用することで、効率的・効果的に事業を実施できること。
（活用方法）ケニアでの第三国研修やケニア人専門家による技術指導を投入予定。
- ・ 相手国のオーナーシップを高めるためにも、また自立発展性を確保するためにも、教員研修の実施経費（講師の日当、参加者の宿泊費・交通費など）は極力先方負担とすることが望ましいこと。
（活用方法）講師の日当や講師・参加者の交通費（一部例外あり）を先方負担としている。

4-8 今後の評価計画

- ・ ニーズ調査⁹（2010年3～4月）
- ・ 中間レビュー調査（2011年7月）
- ・ 終了時評価調査（2012年7月）
- ・ 事後評価調査（2015年9月）

⁹ 各指標のベースライン調査も兼ねる。

付 属 資 料

- 1 詳細計画策定調査現地報告書
- 2 詳細計画策定調査に係る先方政府との協議議事録 (M/M)
- 3 討議議事録 (R/D)
- 4 南部スーダン教育概要

平成 21 年 7 月 15 日

南部スーダン理数科教育強化プロジェクト

詳細計画策定調査 現地報告書

団長・総括	石原 伸一
教員研修	松本 知子
広域協力	長沼 啓一
理数科教育	Masoka NDELA
協力企画	徳田 真人

1. 調査目的

- 1) 要請内容を確認するとともに、南部スーダンにおける教員研修及び教員養成の現状や先方政府の今後の展望について情報収集を行う。
- 2) プロジェクトのデザイン（目標、成果、活動、協力期間、対象地域、実施体制、活動内容、必要経費など）に関して、当方案に基づき協議を行い、先方政府との合意形成を図る。
- 3) 南部スーダンの教育セクターを支援する他ドナーに対して JICA プロジェクトの方向性を説明するとともに、今後の役割分担・連携の方向性について意見交換を行う。

2. 調査団員

石原 伸一	総括	JICA 人間開発部基礎教育第二課 課長	7月6日～ 7月19日
松本 知子	教育研修	JICA 人間開発部基礎教育第二課 Jr.専門員	7月6日～ 7月19日
徳田 真人	協力企画	JICA 人間開発部基礎教育第二課 職員	7月6日～ 7月19日
長沼 啓一	広域協力	ケニア SMASE プロジェクト専門家（チーフアドバイザー）	7月7日～ 7月11日
Mr.Masoka	理数科教育	National Trainer, Center for Mathematics, Science and Technology Education in Africa (CEMASTEА、ケニア)	7月9日～ 7月16日

3. 調査日程

別添資料 1 を参照。

4. 調査結果

調査団は、南部スーダン政府（GOSS）の教育科学技術省との協議を通じ、ミニッツ（別添資料 2）にある記載事項を合意した。主な合意事項は以下のとおり。

(1) プロジェクトの枠組み

① プロジェクト名称：

英文：Strengthening Mathematics and Science Education in Southern Sudan (SMASESS)

和文：南部スーダン理数科教育強化プロジェクト

※ 今回の調査中に先方政府より上記のようにプロジェクト名称を変更したい旨の要望が提示された。詳細については、5-1 を参照。

② プロジェクト期間： 3 年間

③ 対象レベル・教科： 初等理数科

④ 対象地域：モデル州（Warrap 州、Eastern Equatoria 州）を中心とする南部スーダン
（モデル州に関しては、5-4 を参照）

⑤ ターゲットグループ：

- 中央研修講師 8 人（専任 4 人、兼任 4 人）
- コーディネーター 1 人
- 州研修講師 70 人（南部全 10 州から各 7 人）
- 現職の初等教員（モデル教員） 200～300 人（モデル州を 2 州として想定）
- 教員養成校教官 24 人

※ モデル州では、現職教員の中で指導教員となるような人材（＝モデル教員）を対象として研修を実施する（モデル教員については、(3)を参照）。

※ 本プロジェクトでは現職教員を一義的なターゲットとしつつも、先方政府から強い要望を受けて教員養成校の教官もターゲットに含めることとする（5-6 を参照）。

(2) PDM 要約

① 上位目標： 初等教員の理数科分野の指導力が向上する。

② プロジェクト目標： モデル教員の理数科分野の指導力が向上する。

③ 成果：

【成果 1】中央と州レベルで SMASESS 研修を実施するための組織が構築される。

【成果 2】州研修講師の能力が強化される。

【成果 3】モデル州においてモデル教員に対する理数科分野の研修実施体制が機能する。

【成果 4】教員研修政策と SMASESS 研修に対する支援体制が強化される。

（※「SMASESS 研修」とは南部スーダンにおける理数科分野現職教員研修を指す。）

④ 投入

【日本側】

- 長期専門家（教員研修政策、INSET マネージメントの 2 人）
- 短期専門家（理数科教育など）
- プロジェクト・研修に必要な資機材
- 日本あるいは第三国における研修

【南部スーダン側】

- 中央研修講師、コーディネーター、地方研修講師

- プロジェクト事務所用の用地
- 研修会場

(3) 研修システム

以下のような研修講師と教員を選出し、中央研修講師→州研修講師、州研修講師→モデル教員という流れで研修を実施する。

①中央研修講師

理数科分野の現職教員研修に関して中央レベルで実施・運営・評価する。

②州研修講師

南部スーダン全 10 州からそれぞれ、理科教員 3 人、数学教員 3 人、視学官 1 人の計 7 人を州研修講師として選出する。

③モデル教員

モデル州それぞれにおいて 100～150 人の教員をモデル教員として選出する。彼らは、郡 (County) レベルの理数科教育における指導教員として、他の教員に対して指導・助言を行うことが期待される (モデル州の選定については、Ⅲ - 4 を参照のこと)。

その他、中央研修講師による教員養成校の教官 (24 人程度) 向けの研修も実施予定である。

(4) プロジェクト運営体制

GOSS 教育科学技術省内に中央現職教員研修ユニット (SMASESS ユニット) を設置し、ここがプロジェクト活動を総括する。この中央 INSET ユニットは、常勤及び非常勤の中央研修講師とコーディネーターで構成される (専門家はこのユニットに配属予定)。その他、中央レベルでは中央運営委員会、中央技術委員会、州レベルでは州教育調整委員会、郡教育計画委員会がプロジェクト運営に関与する。なお、年に一度、日本側と南部スーダン側で合同調整委員会 (JCC) を開催する予定。

5. 主な協議事項

1. プロジェクト名称

先方政府より、プロジェクト名称を要請書上の名称「Science and Mathematics Teachers Training」から「Strengthening Mathematics and Science Education in Southern Sudan (SMASESS)」に変更したいとの要望があった。これを受けて、調査団が帰国後にこの点について外務省や JICA 本部と協議を行い、所定の手続きを経て名称変更を検討することをミニッツに記載した。名称変更の理由としては、昨年 8 月にケニア SMASE の支援を得て実施した戦略策定ワークショップで JICA 支援による理数科教員研修を「SMASESS」と呼ぶことが提案され、現在この名称が先方教育省内で定着しているため。

2. 今回のプロジェクトの位置づけ

今回の 3 年間の協力では、今後の理数科分野現職教員研修の全国展開を見据えた基盤づくりを目指すということで双方合意。具体的には、1) 中央 SMASESS ユニットの構築、2) 中核人材 (中央研修講師・州研修講師・モデル教員) の能力強化、3) モデル州における SMASESS 活動のメカニズムの構築。

3. 中央 SMASESS ユニット

2009年9月までに、南部スーダン政府が中央 SMASESS ユニットの設置し、常勤の中央研修講師4人と常勤のコーディネーターを配属することで合意。これら SMASESS ユニットのメンバーは、プロジェクト開始前の2009年10月19日～11月6日、ケニアのアフリカ理数科・技術教育センター（CEMASTE）で実施される第三国研修に参加する予定。

4. モデル州の選定

本プロジェクトでは、南部スーダン10州の中から理数科分野現職教員研修のモデル制度を構築するための「モデル州」を設定する。このモデル州においては、州研修講師によるモデル教員への研修の実施、研修に必要な資材の供与、また中央 SMASESS ユニットによるモニタリング・評価を実施する予定（PDMの成果3に該当）。

モデル州の選定については、各州政府の教員研修に対する積極性を重視することとし、プロジェクトの開始時点では、これまでに教員研修に対する州政府のイニシアティブが確認できた¹Warrap州とEastern Equatoria州の2州をモデル州として設定することとする。なお、プロジェクト開始から1年後に我が方と先方で合同調整委員会を開催する予定であり、その際にプロジェクトの進捗状況や他の州の教員研修への取り組み状況を勘案して、モデル州の追加について検討する。

5. プロジェクト経費のシェアリング

他の SMASE プロジェクトにおけるコストシェアリング方法を参考にしながら先方政府と協議を行ったが、先の石油価格の下落から先方政府の財政が逼迫していることを鑑みて、通常 SMASE 型プロジェクトで先方負担とする経費の一部を JICA 側で負担することとした。具体的には、研修講師の交通費（一部）や宿泊代など。プロジェクト事務所についても、先方教育省内の既存の建物内には確保が難しいとのことを受けて、先方政府が用意する用地に、JICA 負担で事務所を設置することで合意した。

6. 新規教員養成への関与

本プロジェクトでは現職教員研修に焦点を当てているが、南部スーダン内においては新規教員養成課程も十分に機能していないことを受けて、本プロジェクトで1) 教員養成校の教官に対して理数科分野研修を実施すること、2) プロジェクトで開発する理数科分野のカリキュラムや教材を新規教員養成を含む他の教員研修へ活用していくことを検討することが先方政府から要請があり、活動に追加した（PDMの活動4-2、4-3に該当）。

6. 留意事項、フォローアップ

以下事項について留意が必要である。プロジェクト開始までに適宜フォローすることを JICA 事務所に依頼する。

¹ Warrap 州と Eastern Equatoria 州では、JICA の支援による中核人材育成 WS（2009年1-2月）を受けて、州政府が独自に予算を確保して現職教員研修を実施した。全10州のなかでこのように州政府のイニシアティブのもと研修が実施されたのはこの2州のみである。

- ・ 討議議事録（R/D）締結に向けて、プロジェクト経費の積算を先方政府とともに行う。
- ・ 常勤の中央研修講師4人とコーディネーター1人が中央 SMASESS ユニット内に配属されるよう先方政府に働きかける。
- ・ プロジェクト事務所設置のための土地が確保されるよう先方政府に働きかける。その際、教育省からの距離や水道・電気といったインフラの整備状況も鑑みて、適切な場所に土地が確保されるように留意する。

7. 調査総括（団長所感）

本プロジェクトは、理数科を切り口として、初等レベルの現職教員の指導力の向上を目指すものであるが、南部スーダンにおいて、全体の教員研修制度の構築を開始しようという初期段階にあることから、教師教育全体を見渡しつつ、以下の視点をもって取り組んでいくことが必要であると考えられる。

- ・ 新規教員養成・現職教員研修の両方に資する教員研修の核となる人材（中央、州レベルの研修講師、モデル教員）を育成することが喫緊の課題であり、まずは Critical Mass（十分な人材基盤）づくりが先決。
- ・ 本プロジェクト活動が着実に実施できるよう先方の体制・人材の能力強化を支援するとともに、多少、活動計画が遅延しても、先方の状況、力量に応じて柔軟に対応していく必要がある。
- ・ プロジェクト対象のモデル2州においては、現場レベルで経済的・効果的な教員研修の実施方法を試行し、現場の知見・教訓をモデル州以外にも経験共有できるよう仕向けていくことが大切。
- ・ 現場レベルにおいては、校長、コミュニティといった学校運営委員会の役割が重要であり、例えば、ユニセフ等が実施している学校運営委員会の研修において、一部、現職教員研修のコマを組み込んでもらうなど、最小限の力で最大限の効果をねらう戦略が必要。
- ・ 日本のコミュニティ開発支援無償（UNHCR 経由）で建設予定の教員養成校との連携・活用・支援も意識的に視野に入れ、日本全体として取り組んでいく必要がある。具体的には、同教員養成校の理数科教官の指導法にかかる能力強化、プロジェクトで開発した現職教員向けの理数科教材を新規教員養成の教材への取り込み、現職教員研修の会場としての活用、などが考えられる。また、教育省は、本プロジェクトのカウンターパート機関にあたるユニットをジュバの教員養成校の建設後、移転（2011年頃を想定）させることを考えており、教員養成校の建設・活動の進捗を注視していく必要がある。
- ・ 現在、南部スーダン教育省が教員研修を受講していない教員を対象とした資格付与型の現職教員研修プロジェクトを計画中であるが、先方関係者が「現職教員研修」といえば、本プロジェクトを思い浮かべる状況にある。他方、我が国のプロジェクトは他の教員へ指導できる力を身につけさせるモデル教員の育成を支援するものであり、目的・対象者が異なっている。今後教員研修制度を設計していくなかで両プロジェクトの位置づけを明確にし、先方関係者内で両プロジェクトの混乱をきたさないよう整理しておく必要がある。

また、教員研修制度の構築の初期段階にある南部スーダンでは、教育省内の政治的な人事の

影響や現場レベルでの実施には治安の面で日本人専門家の活動が制約されるなど課題も多い。本プロジェクト対象のモデル2州（Warrap州、Eastern Equatoria州）も現時点では本部決裁を必要とする地域であるが、安全面に配慮しつつも、効果的な活動ができるよう、安全管理の担当部署とも協議しつつ、対応策を検討していきたいと考える。

今回の調査団にケニア SMASE プロジェクト実施機関の中央研修講師からの参団があったが、先方との協議において「アフリカの教員は不満ばかりを言うが、まずは、教員自身、自分たちができることを考え、実践し、自分たちが変わっていく意識変革が必要である。ケニアの教員研修では、最初のコマに教員の態度変容のセッションを設けており、本セッションは南部スーダンにおいても有益ではないか。また、子供が授業を受けてどのように変化をしていくのかという視点をもって教員研修に取り組んでいくことが重要」と発言した際、南部スーダン教育省関係者も大きくうなずいていたことが印象的であった。現在、ケニアをはじめアフリカで先行するアフリカの教員研修プロジェクトの知見や人材リソースを活用し、アフリカ内での経験の共有を図っているが、本プロジェクトにおいても有効であると感じた。

今回の調査中、教育省の担当局長、課長は、世銀や USAID のミッションやワークショップ等の対応に忙殺されているなか、本調査団へ真摯な対応がなされた。この背景には、これまでのケニア SMASE からの支援や短期専門家の活動振り、及びフォローアップ協力が非常に高く評価されており、JICA の協力に対する信頼感の高さを感じた。

昨年の3月に調査団で訪問してから、短期専門家、ケニア SMASE でのワークショップ・研修等を通じ中央や州の教育省関係者の意識は高まってきており、着実に前に進んでいることを感じた。このように着実に前に進んできたのは、スーダン駐在員事務所関係者がしっかりとフォローし、タイムリーに手を打ってきていることが大きく、現場感覚の大切さを再認識した。

最後に本調査に多大な協力をいただいた事務所関係者、フォローアップ専門家に感謝申し上げたい。今後、プロジェクト開始前、そして、プロジェクト開始後も多くの課題に直面することが予想されるが、引き続き事務所とともに知恵を絞りながら、取り組んでいきたいと考える。

8. 今後のスケジュール

2009年8月	事前評価表の決裁
2009年9月	実施協議・R/D署名
2009年9月～10月	実施計画書の決裁 専門家確保の手続き開始
2009年11月	プロジェクト開始

以上

【別添資料】

1. 調査日程
2. 研修実施図
3. 東エクアトリア州トリット市出張報告

南部スーダン理数科分野教員養成支援プロジェクト
詳細計画策定調査
日程

別添資料 1

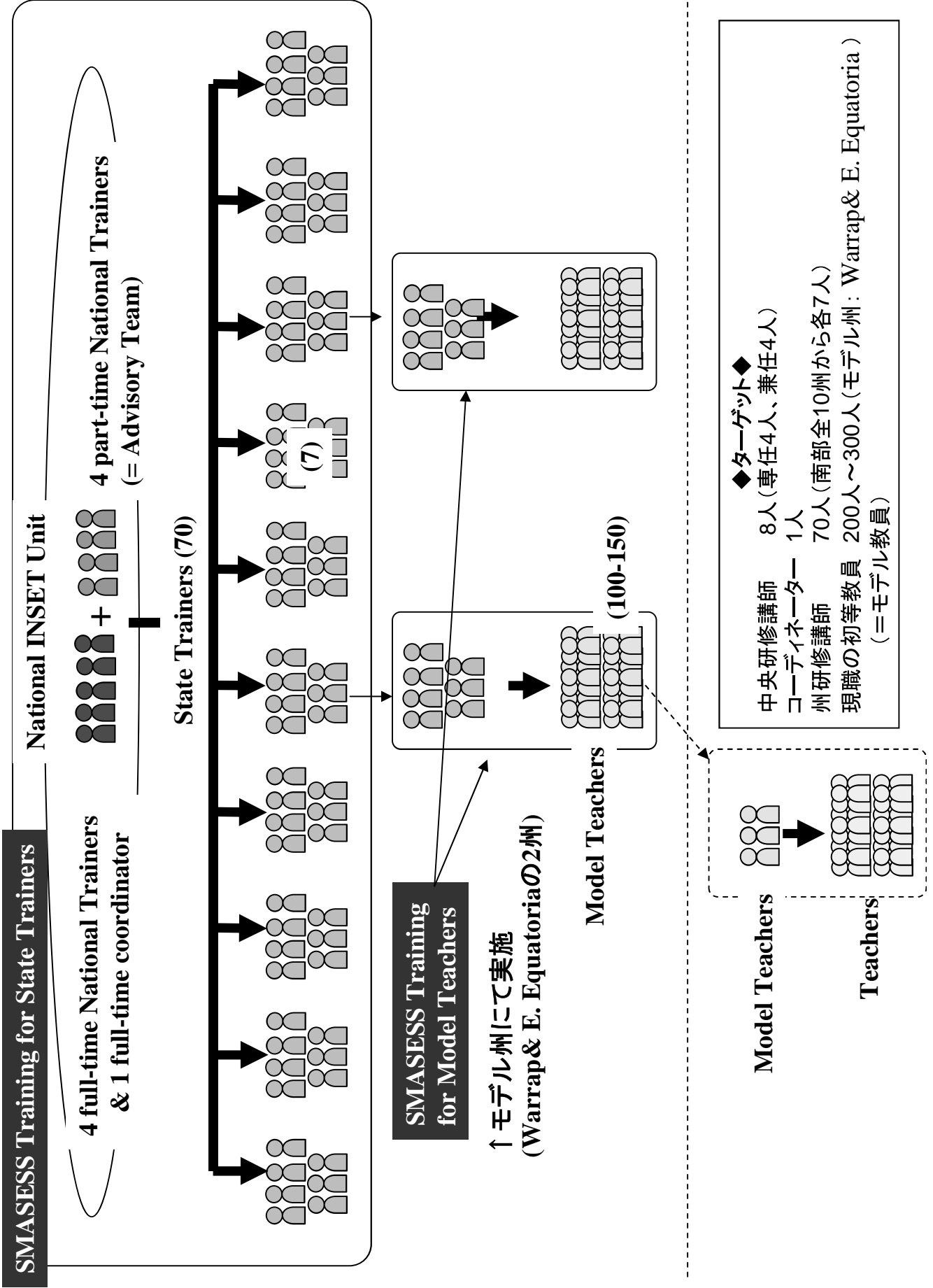
1 : 調査期間 2009年7月6日（月）～2009年7月19日（金）

（スーダン滞在：7/7～7/17、ケニア滞在：7/17～7/18）

2 : 調査スケジュール

日	JICA本部調査団 (石原、松本、徳田)	ケニアSMASE 長沼専門家	CEMASTEА Mr. Maoka	宿泊先
7/6 月	19:55羽田発 (JL185) → 関空 (EK317) → ドバイ			
7/7 火	ドバイ (EK733) → 17:40ハルツーム着	17:20ナイロビ発 (KQ320) → 20:10ハルツーム着 ⇒本部調査団に合流。		ハルツーム
7/8 水	7時ハルツーム発→ジュバ着 AM: ジュバフィールドオフィス打合せ PM: 南部スーダン政府・教育省 (MoEST-GoSS) 表敬 南部スーダン政府・地域協力省表敬 MoEST-GoSSとの協議	↑ ↓		ジュバ
7/9 木	UNICEF, UNHCR, USAID, MDTFとの協議		07:30ナイロビ発 (J0831) → 09:15ジュバ着 ⇒本部調査団に合流。	ジュバ
7/10 金	東エクアトリア州トリット市視察 (往復国連機利用)		↑ ↓	ジュバ
7/11 土	AM: MoEST-GoSSとの協議 PM: 資料整理	12:15ジュバ発 (J0834) →14:00ナイロビ着		ジュバ
7/12 日	資料整理			ジュバ
7/13 月	MoEST-GoSSとの協議			ジュバ
7/14 火	MoEST-GoSSとの協議 MM案作成			ジュバ
7/15 水	MM署名 ジュバNTTI建設現場視察			ジュバ
7/16 木	10時ジュバ発→12時ハルツーム着 スーダン駐在員事務所報告、 大使館報告		16:45ジュバ発 (J0836) →18:30ナイロビ着	ハルツーム
7/17 金	03:50ハルツーム発 (KQ321) →06:45ナイロビ着 ケニア事務所表敬、 CEMASTEА訪問 ケニアSMASSEプロジェクトと協議			ナイロビ
7/18 土	(引き続き、ケニアSMASSEと協議) 16:40ナイロビ発 (EK720) →22:40ドバイ着			
7/19 日	03:15ドバイ発 (EK316) →関西→20:26羽田着			

SMASESS TRAINING STRUCTURE



東エクアトリア州トリット市出張報告

1. 日程

2009年7月10日（金）

2. 出張目的

- ・ 南部スーダンの地方都市における教育現場の視察
- ・ JICA 支援によるナイロビ研修を踏まえたパイロット教員研修の事後調査

3. 視察先

- ・ 東エクアトリア州教育省
- ・ Torit 市内 Secondary School 訪問
- ・ Torit 市内 Primary School 訪問（Dr. John Grang Memorial School, ST Theresa Primary School, Torit Model Basic Primary School, Torit East Primary School）
- ・ トリット郡教育事務所（County Education Office）訪問

4. 同行者

【南部スーダン政府教育科学技術省】

Mr. Edward Kokole Juma, Ag. Director General for Quality Promotion and Innovation

【JICA ジュバフィールドオフィス】

玉利清隆企画調査員、中村恵理企画調査員

5. 視察概要

1) 東エクアトリア州教育省表敬

先方からは General Education 局長（州教育大臣代行）のほか2人が出席。州教育省側の発言の骨子は以下のとおり。

ア) 東エクアトリア州教育省の概要

- ・ 非常勤も含めて50名が勤務
- ・ 州内には306の学校があり、3000名の教員
- ・ 郡教育センター（CEC）は州内に2つ存在するが、トリット市から離れたところにある。

イ) パイロット教員研修

- ・ 当初3月に実施を予定していたが、予算が確保できず、実施できていなかった。
- ・ ようやく Catholic Relief Service（CRS）という NGO の支援を受けて7月に実施できた。
- ・ 州内の3郡から51人の現職教員が参加（州内には全部で10州）。
- ・ 8月に2回目の教員研修を実施することを計画中（40人程度の参加者を想定）。

ウ) JICA に対する要望

- ・ 州の教員研修事業に対する資金援助
- ・ 既存の CEC の施設整備（学生寮、教官のための住宅、実験室、リソースセンター）

- ・ 州教育省に対して事務機器の提供（コンピューター等）
- ・ 研修や専門家派遣による技術指導を通して、州研修講師と州教育省職員的能力強化
- ・ 州研修講師が指導の際に参照できるような資料の提供（CEC に対して）

エ) その他

- ・ 東エクアトリア州には JICA 支援によるナイロビ研修で育成された 7 名のほかに、10 名ほどの州研修講師を確保しており、人員的には問題ない。問題なのは、教員研修実施のための資金である。
- ・ これまでは、教員研修実施のための資金は NGO に頼っている。中央の教育省から供与される資金では州政府の運営費さえ賄えない状況である。



↑ 東エクアトリア州教育省事務所



↑ 東エクアトリア州教育省表敬

2) Torit 市内 Secondary School 視察

簡単に授業風景を視察。



↑ 授業を視察



↑ 学校風景

3) Dr. John Grang Memorial School (初等学校) 視察

東エクアトリア州におけるパイロット教員研修の会場となった初等学校を訪問。同校の校長から聴取した情報は以下のとおり。

- ・ 州政府によって建設。

- ・ 児童は 450 名、教員は 10 名、教室は 8 つ。
- ・ 教員が不足し、州政府に教員の増加を申請中。他方、保護者の寄付金によって臨時教員を雇用している。
- ・ 学校委員会（School Committee）や PTA は存在。
- ・ 2 名の教員が JICA 支援によるナイロビ研修に参加。
- ・ 学校内に実験室（水道付き）がある。実験器具や薬品もドナーから提供されたものがあるが、電気や水の供給が止まっているため、現在は使用していない。
- ・ パイロット教員研修の際には教室にマットレスを持ち込んで参加した教員を同校に宿泊させた。マットレスについては以前選挙活動で供与されそのまま学校内に残されていたものを活用。



↑ 学校の風景



↑ 実験室の様子



↑ 実験器具



↑ 倉庫に格納されているマットレス

4) ST Theresa Primary School 視察

同校の校長から聴取した情報は以下のとおり。

- ・ CARITAS という NGO の資金援助を受けて建設・運営。
- ・ 児童は 1632 人（男児 932 人、女児 700 人）、教員は 26 人（常勤 12 人、非常勤 14 人、常勤教員のうち 6 人が何らかの教員研修を受講済み）、教室は 8 つ。
- ・ School Committee や PTA は存在。
- ・ 1 人の教員が JICA 支援によるナイロビ研修に参加。その教員が毎週土曜日に同じ学校の他の教員に対してナイロビ研修で学んだことを踏まえて指導している。

- ・パイロット教員研修には同校から2名の教員が参加。



↑校舎風景



↑青空教室

5) Torit Model Basic Primary School と Torit East Primary School 視察

同一の敷地内に上記の2校が存在。同じ校舎を用いて午前と午後で全く異なる体制で学校運営を行っている。主に Torit Model Basic Primary School について聴取した内容を以下に記す。

- ・児童は1350名（男児530名、女児800名）、教員は26名（うち、22名が常勤）、教室は7つ（併せて屋外に3教室）。
- ・school Committee や PTA は存在。
- ・2名の教員が JICA 支援によるナイロビ研修に参加。帰国後に、同教員が他の教員に研修内容を共有。
- ・同校としては、学校休み(2月-3月)を利用して全教員に対して研修が実施されることを望む。同行した GOSS-MOEST の Mr.Kokole から、1月は予算年度の始まりであるため、政府の予算がデイスパースされないことが多く、またドナーも休暇に入っていることが多いため、州政府が資金を確保できない時期である、と補足説明がなされた。

6) Torit 郡教育事務所 (County Education Office) 訪問

聴取した内容は以下のとおり。

- ・トリット郡内には7つの Payam があり、57校が存在。
- ・ほとんどの学校が P1-P5 の児童のみを受け入れている。
- ・Torit 郡教育事務所には7名のスタッフが勤務。

Class	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11	P12	P13	P14	P15	P16	P17	P18	P19	P20	Total
LODORWA	60	30	56	28	42	22	40	18	28	08	10	05	-	-	-	-	-	-	-	-	236
BARI	70	31	42	24	49	12	42	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	211
ORIN SU	44	17	28	09	23	04	21	05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	94
Itu DORWA	35	25	31	12	35	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	174
DSiFo	58	28	52	20	40	16	34	05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	184
LONLA	35	21	28	40	30	25	35	10	15	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	123
LORICER	09	15	04	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59
Gf	380	54	260	141	256	86	207	123	63	18	10	05	-	-	-	-	-	-	-	-	1000

↑ Payam における学校情報



↑ 事務所の風景

7) 東エクアトリア州教育省での意見交換

一連の視察を踏まえて、調査団側、GOSS-MOEST 側、州教育省側で意見交換を行った。州教育省からは、視察官、諸局長・副局長ら 17 名ほどが出席。

主な発言は以下のとおり。

ア) 石原団長

今回の視察を通じて学校運営の重要性を認識した。特に、校長のリーダーシップが重要。教員を取り巻く周囲の者（校長、行政官、保護者）が教員研修の重要性を理解することが大切。教員研修のスケールアップの方法としては、研修を受けた教員が各学校の他の教員に教えるという手法が有効である。日本では、校内研修が非常に盛んであり、教員同士が議論したり、授業発表をしたりしている。

イ) Masoka 団員

東エクアトリア州が州のイニシアティブで教員研修を実施したことに感銘を受けた。ナイロビで研修を受けた教員の、帰国後の活動が確認できたことは大変嬉しい。

ウ) 長沼団員

教員は常に学ばなければならない存在である。そのためには、校長や行政官といったマネジメントに関わる人間が教員をサポートする必要がある。保護者に対して啓発活動を行い、教員研修に対する理解を促していただいたい。

ウ) 玉利企画調査員

南部スーダンでは、中央と地方のコミュニケーションが不十分な点が大きな問題であると考えているが、今回の視察を通して中央政府と州教育省が双方を知るよい機会になったと思う。パートナーとしての JICA が存在することを是非忘れないでいただきたい。

エ) CRS のスタッフ

CRS としては、今後州教育省や他ドナーとの協議の機会を増やし、それぞれが持つリソースを有効に活用して、より多くの教員研修が実施できるよう尽力していきたい。

エ) 東エクアトリア州教育大臣代行

州教育省としてパートナーに対しては、1) 移動手段の確保、2) 郡教育センターの施設整備、3) 実験器具の提供—を要望していることを改めて述べたい。

オ) Kokole 氏

今回の視察のなかで、州レベルのパイロット教員研修が成功していることを嬉しく思う。州政府が学校を建設する能力があること、教員に対して定期的な給与の支払いがなされていること、学校内で規律が保たれていること、限られたスペースの中でより多くの者が学べるような工夫がなされていること—といった点で州の取り組みに感銘を受けた。なお、今後の課題として、州教育省から **School Committee** や **PTA** に対してフォローを行い、学校運営を強化すること、視学官による監督を強化すること、郡レベルとのコミュニケーションと調整を強化していくこと—が挙げられる。

以上

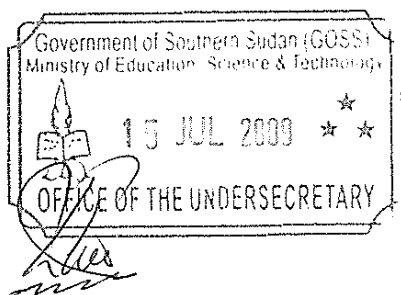
**MINUTES OF MEETING BETWEEN
THE JAPANESE DETAILED DESIGN SURVEY TEAM AND
THE GOVERNMENT OF SOUTHERN SUDAN ON
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
SCIENCE AND MATHEMATICS TEACHERS TRAINING**

The Japanese Detailed Design Survey Team (hereinafter referred to as the “Team”), organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) visited Southern Sudan from July 8th to July 15th, 2009 in order to agree on the framework of the Project on Science and Mathematics Teachers Training (hereinafter referred to as the “Project”) with the Government of Southern Sudan (hereinafter referred to as the “GOSS”).

During the stay in Southern Sudan, the Team exchanged views and had a series of discussions with the GOSS side on the formulation of the Project.

As a result of the discussions, both the GOSS side and the Team drew up the Project in the document attached hereto.

Juba, July 15th, 2009



for

Mr. William Ater Maciek
Undersecretary
Ministry of Education, Science and Technology
Government of Southern Sudan



Mr. Shinichi Ishihara
Leader
Japanese Detailed Design Survey Team
Japan International Cooperation Agency

ATTACHED DOCUMENT

ATTENDANCE LIST

The discussions between the GOSS side and the Team regarding the Project were held in Juba.

GOSS side

Ministry of Education and Science Technology (MoEST)

Mr. Lino Wandu Girikpio, Ag. Undersecretary and Director General for General Education
Mr. Edward Kokole Juma, Ag. Director General for Quality Promotion and Innovation
Mr. John Lujang, Ag. Director for Department of Teacher Education
Dr. Utem K. Watba, Director for Development Partner Coordination
Ms. Elizabeth Ferlinaul Musa, Director for National Languages
Mr. Hakim Dabi, Deputy Director for Data and Statistics
Mr. James Odick, Deputy Director for Physical Planning
Mr. Nhial Johnson, Deputy Director for Secondary Education
Mr. Mading Manyok, Examination Secretary for Secondary Education
Mr. Duku Azaria Zuaker, Director for Secondary Education
Mr. Omot Okony Olok, Director for Curriculum
Mr. Franco Wol Amoi, Maridi TTI Tutor
Mr. Salah Farajallah, Legal Advisor

Japanese side

JICA Detailed Design Survey Preparatory Study Team

Mr. Shinichi Ishihara, Director, Human Development Department, JICA HQs
Mr. Keiichi Naganuma, Chief Advisor, Kenya SMASE Project,
Mr. Masoka Ndelela, National Trainer, Science Department, Center for Mathematics,
Science, and Technical Education for Africa (CEMASTE), Kenya
Ms. Tomoko Matsumoto, Associate Expert, Human Development Department, JICA HQs
Mr. Masato Tokuda, Program Officer, Human Development Department, JICA HQs

JICA Sudan Office

Mr. Kiyotaka Tamari, Programme Formulation Advisor
Ms. Eri Nakamura, Programme Formulation Advisor



LIST OF ACRONYMS

CDC	Curriculum Development Center
CEC	Country Education Centre
CEMASTEА	Centre for Mathematics, Science and Technology Education in Africa
CEPC	County Education Planning Committee
GOSS	Government of Southern Sudan
INSET	In-service Education and Training
JICA	Japan International Cooperation Agency
JCC	Joint Coordinating Committee
M&E	Monitoring and Evaluation
M/S	Mathematics and Science
MOEST	Ministry of Education, Science and Technology
NTTI	National Teacher Training Institute
NT	National Trainer
SECC	State Education Coordination Committee
SMOE	State Ministry of Education
SMASESS	Strengthening Mathematics and Science Education in Southern Sudan
SMASSE	Strengthening Mathematics and Science in Secondary Education (Kenya)
SMASE-WECSA	SMASE in West, East, Central, and Southern Africa
ST	State Trainer
TTI	Teacher Training Institute



Summary of Discussions

On the basis of the proposal of the Project, the two parties have discussed and agreed on the Project framework. The details of the agreed documents are attached as annexes I - IX.

The major points of the Project framework that have been agreed upon are as follows:

I. Project Framework

1. Title of the Project

The GOSS side requested that the title of the Project should be changed from 'Science and Mathematics Teachers Training' to 'Strengthening Mathematics and Science Education in Southern Sudan (SMASESS)'. In August 2008, representatives from the MOEST-GOSS and the State Ministry of Education produced the document on INSET strategy on Mathematics and Science and proposed SMASESS as a title of the Project in the Strategic Planning Workshop. This workshop was held at Center for Mathematics, Science and Technology Education in Africa (CEMASTECA), Nairobi in collaboration with SMASE Kenya. Since then, the SMASESS has been well recognized as an initiative of the MOEST-GOSS. The Team has agreed to convey this request to JICA Headquarters and Ministry of Foreign Affairs of Japan and take necessary measures to consider the change of the title of the Project.

2. Concept of the Project

As shown in ANNEX I, the Project will focus on the establishment of the foundation and model mechanism for rolling out SMASESS activities as follows:

- The National SMASESS Unit will be established.
- The capacity of core trainers and teachers, namely, National Trainers, State Trainers and Model Teachers will be enhanced.
- Mechanism for SMASESS training in model states will be developed.

3. Objectives of the Project

(1) Overall Goal

Teaching skills of primary teachers in Mathematics and Science are improved.

(2) Project Purpose

Teaching skills of Model Teachers in Mathematics and Science are improved.



(3) Outputs

- 1) The body / unit to implement SMASESS training at National and State levels is established.
- 2) Ability of State Trainers is enhanced.
- 3) SMASESS training for Model Teachers is implemented and assessed in model states.
- 4) The supporting system for teacher training policy and implementation of SMASESS activities is strengthened.

4. Duration of the Project

The duration of the Project will be three (3) year from November, 2009 to November, 2012. The commencement of the Project is subject to the progress of preparation by the both parties.

II. SMASESS Training and Administrative Structure

1. SMASESS Training Structure

(1) National SMASESS Unit (National Trainers and Coordinator)

The GOSS side has agreed that four (4) full-time National Trainers (Two (2) for Mathematics and Two (2) for Science) and one (1) full-time coordinator will be recruited and assigned to the National SMASESS Unit before September, 2009. They will be responsible for implementing, supervising, coordinating, monitoring and evaluating the SMASESS activities as a member of National SMASESS Unit. Their roles and TOR are attached in ANNEX VIII. It is confirmed that they will attend the third country training programme at CEMASTEIA, Nairobi from October 19th to November 6th, 2009 to strengthen their capacity.

(2) State Trainers

Seven (7) State Trainers, consisting of one (1) inspector, three (3) Mathematics Teachers, three (3) Science Teachers, will be assigned by each State Ministry of Education. They will be responsible for the implementation of the training for Model Teachers at state level. It is suggested that the selection of State Trainers should be re-examined and assessed according to the criteria and method which is set in ANNEX VIII.



(3) Model Teachers

The Project will target trained teachers at primary level. Model Teachers (about 100 to 150 per each model state) will be selected from trained teachers by the County Education Planning Committee. Model Teachers are expected to assist and support other teachers as mentors.

The SMASSESS training of the Project will be summarized as follows:

Level	Target	Trainers	Venue	Duration
National	One(1) Coordinator (full-time) Four(4) Full-time National Trainers Four(4) Part-time National Trainers	SMASE Kenya & JICA Experts	Kenya or Juba	
	Seventy(70) State Trainers from ten(10) states	National Trainers	Rumbek or Juba	10 days per year x 3times
State	One Hundred(100) - One Hundred Fifty(150) Model Teachers in each model state	State Trainers	CEC or equivalent in model states	10 days per year x 3times

2. Selection of Model States

Since Warrap State and Eastern Equatoria State have already conducted try-out of SMASSESS training by their own initiative, the both sides have agreed that the two states are selected as model states to develop model mechanism of SMASSESS training at state level. It is noted that the inclusion of other states as model states will be discussed based on the progress of the Project and readiness of states at Joint Coordinating Committee after one year from the start of the Project.

3. Administrative Structure

Administrative Structure and the function of Joint Coordinating Committee (JCC) is shown in ANNEX VI and VII.



III. Inputs to be provided by Southern Sudan side and JICA side

The Government of Southern Sudan shall make the contributions to institutionalise SMASESS programmes. JICA will supplement the Government inputs in the form of the Technical Cooperation Project. Considering the current difficult economic and financial situation, JICA will support accommodation cost of Training for State Trainers, meals of Training for Model Teachers and monitoring cost for National Trainers, however, the Team stressed that these recurrent cost should be secured by Southern Sudan side to make sustainable SMASESS programmes after the Project period. Due to the limited office space, the set up of the office and its essential facilities for National SMASESS Unit and JICA experts will be supported by JICA. The both sides have agreed on the cost sharing between the Southern Sudan side and JICA as shown below:

Items		Southern Sudan	JICA
General	Assignment of a full-time coordinator and 4 full-time National Trainers(NTs)	•	
	Assignment of 4 part-time National Trainers as Advisory Team	•	
	Assignment of 70 State Trainers (STs)	•	
	Dispatch of Experts		•
	Land (space) for office	•	
	Office and its facilities		•
	Training abroad		•
	Vehicle (1)		•
Training for National Trainers in Kenya	Training cost at CEMASTEIA (including accommodation and meals)		•
	International Airfare		•
	Visa and airport tax	•	
	Allowances for NTs	•	
	Domestic Transportation	•	
Training for State Trainers	Arrangement of Venue	•	
	Accommodation		•
	Allowances for NTs & STs	•	
	Transportation (by air) for NTs & STs		•

	Transportation (by car) for NTs & STs	•	
	Training Materials		•
Training for Model Teachers in model states	Arrangement of Venue	•	
	Meals		•
	Allowances for STs	•	
	Transportation cost for STs and Model Teachers	•	
	Initial Cost for CEC or equivalent (sleeping mat less and essential equipment for training)		•
	Training Materials		•
	Monitoring cost for NTs		•
	Certificate of attendance		•

IV Way Forward

Date	Event	Remarks
July to August, 2009	<ul style="list-style-type: none"> - Cost estimation for the Project by the both sides - Internal Assessment for final approval at JICA Headquarters - Assignment of full-time National Trainers and a Coordinator at National SMASESS Unit - Secure the Office land(space) by MOEST-GOSS 	
September, 2009	<ul style="list-style-type: none"> - Signing of Record of Discussions(R/D) 	R/D is the official document of the Project between Southern Sudan authorities and JICA.
September to October, 2009	<ul style="list-style-type: none"> - Recruitment Process of JICA Experts 	
October to November, 2009	<ul style="list-style-type: none"> - Training for National Trainers for SMASESS in Kenya 	
November, 2009	<ul style="list-style-type: none"> - Commencement of the Project 	

The above schedule depends on the preparation by both sides.

ANNEXES

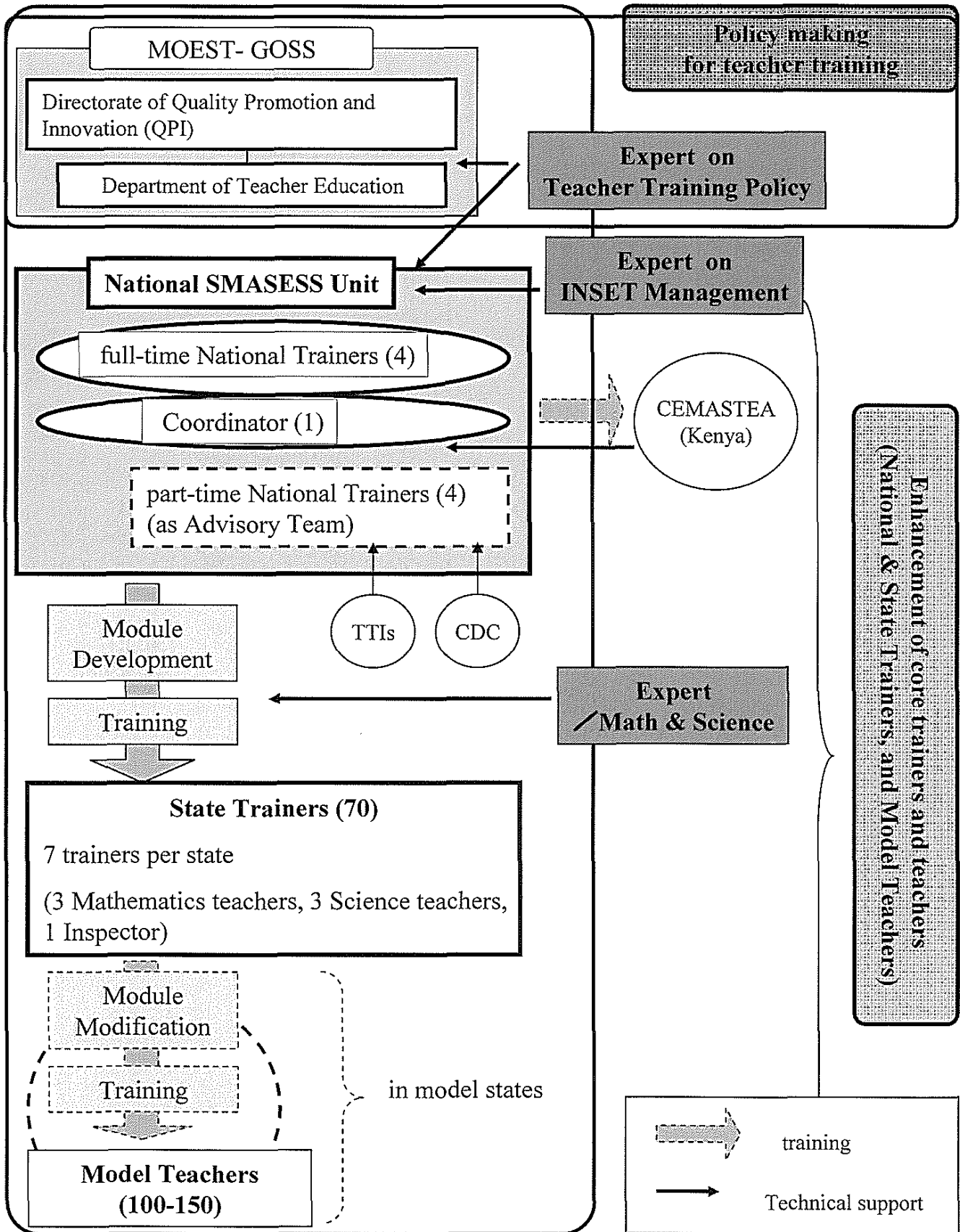
- I. CONCEPT OF THE PROJECT
- II. SMASESS TRAINING STRUCTURE
- III. SMASESS SCHEDULE OF MAIN ACTIVITIES 2009 -2012
- IV. PROJECT DESIGN MATRIX(PDM)
- V. PLAN OF OPERATION (PO)
- VI. JOINT COORDINATING COMMITTEE(JCC)
- VII. ADMINISTRATIVE STRUCTURE FOR SMASESS
- VIII. TERMS OF REFERENCE OF TRAINERS, COORDINATOR AND MODEL TEACHERS
- IX. TERMS OF REFERNECE OF JICA EXPERTS

Si

u

CONCEPT OF THE PROJECT

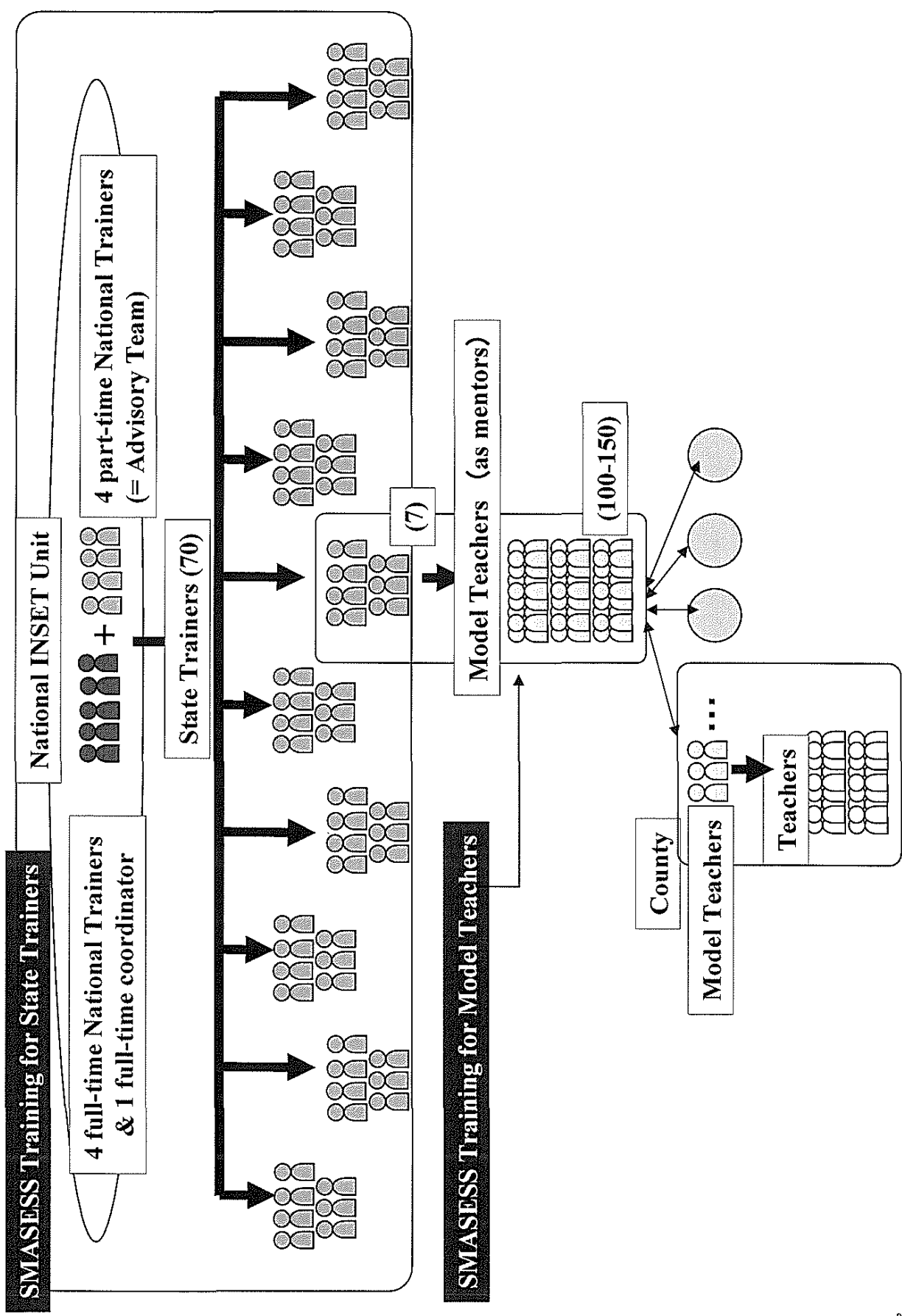
ANNEX I



Signature

Signature

SMASESS TRAINING STRUCTURE



Si

LS

Project Period (3 years)

Activities	Target	Responsible Person	Venue (Tentative)	2009												2010												2011												2012												
				8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
SMASESS Training for National Trainers	National Trainers	Kenya SMASE	CEMASTEA or Juba	ALCEMASTEA												CEMASTEA												CEMASTEA or Juba												CEMASTEA or Juba												
Developing training materials, monitoring & evaluation tools	SMASESS training for State Trainers	NSU	NSU	Cycle1 & Evaluation Tools												Cycle2												Cycle2												Cycle3												
SMASESS training for State Trainers	State Trainers	NSU	Juba or Rumbek	Cycle1 10 days												Cycle2												Cycle 2												Cycle 3												
SMASESS training for TTI Tutors	TTI Tutors	NSU	Juba or Rumbek	Cycle1												Cycle1												Cycle 2												Cycle 3												

2. Activities in Model States

Activities	Target	Responsible Person	Venue (Tentative)	2009												2010												2011												2012												
				8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
Needs Survey	Model Teachers	NSU	Model states													Cycle1 & Evaluation Tool												Cycle2												Cycle3												
Developing training materials, monitoring & evaluation tools	SMASESS for Model Teachers	NSU	NSU	Cycle1 (10 days x 1 or 2 places in 2 model states)												Cycle2 (10 days x 1 or 2 places in 2 model states)												Cycle3 (10 days x 1 or 2 places in 2 model states)												Cycle3 (10 days x 1 or 2 places in 2 model states)												
Sensitization workshops in collaboration with other development partners	School Principals and other key stakeholders	NSU	-																																																	
SMASESS for Model Teachers	Model Teachers	State Trainers with NSU Support	CEC or equivalent																																																	
Monitoring of SMASESS for Model Teachers	State Trainers / Model Teachers	NSU	CEC or equivalent																																																	
				TTI / Primary Schools Calendar Year (Not fixed)																																																

PROJECT DESIGN MATRIX

Executing Bodies: Ministry of Education and Science Technology (MOEST)-GOSS and Japan
International Cooperation Agency (JICA)

Target Area Southern Sudan

Duration: 3 years (2009 – 2012)

Version No.1.0 (July 15th, 2009)

Narrative Summary	Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
Super Goal Capability of primary school pupils in mathematics and science is improved.	-Positive change of students' attitude and participation in classroom activities - Results of achievement in Examination	- MOEST report - National Examination	
Overall Goal Teaching skills of primary teachers in mathematics and science are improved.	- Positive change of teachers' attitude toward mathematics and science education	- MOEST report	
Project Purpose Teaching skills of Model Teachers in mathematics and science are improved.	By the end of the project, 1. Model Teachers obtain mean of over *** on the scale of 0 to 4 in the Lesson Innovation Index. 2. Model Teachers obtain mean of over *** on the scale of 0 to 4 in the Lesson Observation Index. 3. Model Teachers obtain mean of over *** on the scale of 0 to 4 in the ASEI / PDSI check list.	Project monitoring and evaluation reports	
Output(s): 1. The body / unit to implement SMASESS training at National and State levels is established.	By the end of the project, 1-(a) National SMASESS UNIT is established. 1- (b) 1 Coordinator and 4 National Trainers are selected and work for the project. 1- (c) 70 State Trainers are selected and work for the project. 1- (d) National Trainers are trained.	Project monitoring and evaluation reports	Model Teachers will not leave teaching field for another profession.
2. Ability of State Trainers is enhanced.	By the end of the project, 2-(a) 70 State Trainers are trained. 2-(b) State Trainers obtain mean of *** on the scale of 0 to 4 in the Lesson Innovation Index.	Project monitoring and evaluation reports	
3. SMASESS training for Model Teachers is implemented and assessed in model states.	By the end of the project, 3-(a) *** Model Teachers are trained in model states. 3-(b) SMASESS training for Model Teachers obtain mean of over *** on the scale of 0 to 4 in the Quality of INSET assessment Index. 3-(c) State Trainers obtain mean of *** on the scale of 0 to 4 in the	Project monitoring and evaluation reports	




	Capacity Building Index.		
4. The supporting system for teacher training policy, planning and implementation of SMASESS activities is strengthened.	By the end of the project, 4-(a) *** stakeholders participate in advocacy and sensitization workshops. 4-(b) Newsletters on the project activities are issued more than three times.	Project monitoring and evaluation reports	
<p>Activities</p> <p>1-1 To set TOR and recruitment criteria for National Trainers, a Coordinator and State Trainers. 1-2 To equip an office for National SMASESS unit. 1-3 To assign full time National Trainers and a Coordinator. 1-4 To assign part-time National Trainers as an advisory team. 1-5 To conduct SMASESS training for National Trainers. 1-6 To select State Trainers.</p> <p>2-1 To develop and modify training materials for SMASESS training for State Trainers. 2-2 To develop monitoring and evaluation tools for SMASESS training for State Trainers. 2-3 To conduct SMASESS training for State Trainers by National Trainers. 2-4 To conduct monitoring and evaluation of SMASESS training for State Trainers.</p> <p>3-1 To set criteria and select model states. 3-2 To set criteria and select Model Teachers. 3-3 To conduct Needs Survey in model states. 3-4 To develop training materials for SMASESS training for Model Teachers. 3-5 To develop monitoring and evaluation tools for SMASESS training for Model Teachers. 3-6 To print and distribute training materials to model states. 3-7 To conduct SMASESS training for Model Teachers by State Trainers</p>	<p>Input:</p> <p><Government of Southern Sudan ></p> <p>a) National Trainers, a Coordinator and State Trainers b) Land for an office c) Venue for training</p> <p><JICA></p> <p>a) Dispatch of experts b) Office and its facilities c) Provision of equipments d) Training abroad e) Training materials</p>		<p>National and State Trainers will not leave teaching field for another profession.</p> <p>Funds will be timely released by the Government.</p> <p>SMASE-WECSA will continue to support SMASESS activities.</p> <p>Precondition: GoSS and State MoEST will support the project.</p>

<p>3-8 To conduct monitoring and evaluation of SMASESS training for Model Teachers by National Trainers.</p> <p>4-1 To review the current policy and planning on teacher training.</p> <p>4-2 To assist in formulating policy and planning on teacher training.</p> <p>4-3 To conduct SMASESS training for TTI tutors.</p> <p>4-4 To conduct advocacy and sensitization workshops for school principals and other key stakeholders.</p> <p>4-5 To publish newsletters on the activities of the project.</p> <p>4-6 To promote and popularize the activities of the project through the media as the need arises.</p>			
--	--	--	--




JOINT COORDINATING COMMITTEE (JCC)

The Joint Coordinating Committee, which consists both of the GOSS side and JICA side, will be established for the smooth and effective implementation of the Project.

1. Functions

The Joint Coordinating Committee will meet at least once a year or whenever the necessity arises, in order to fulfill the following functions:

- (1) To discuss the Annual Plan of Operation of the Project
- (2) To review the overall progress of the Project and achievement of the technical cooperation
- (3) To make decisions on major issues arising from or in connection with implementation of the Project.

2. Members

(a) The GOSS side

Undersecretary, MOEST-GOSS (Chair)
 Director General of Quality Promotion and Innovation (MOEST-GOSS)
 Director General of General Education (MOEST-GOSS)
 Director of Teacher Education and Development (MOEST-GOSS)
 Director of Quality Assurance and Standards (MOEST-GOSS)
 Director of Administration and Finance (MOEST-GOSS)
 Director of Planning and Budgeting (MOEST-GOSS)
 Representatives from Ministry of Regional Cooperation (MRC)
 Representatives from Ministry of Finance
 Representatives from Development Partners

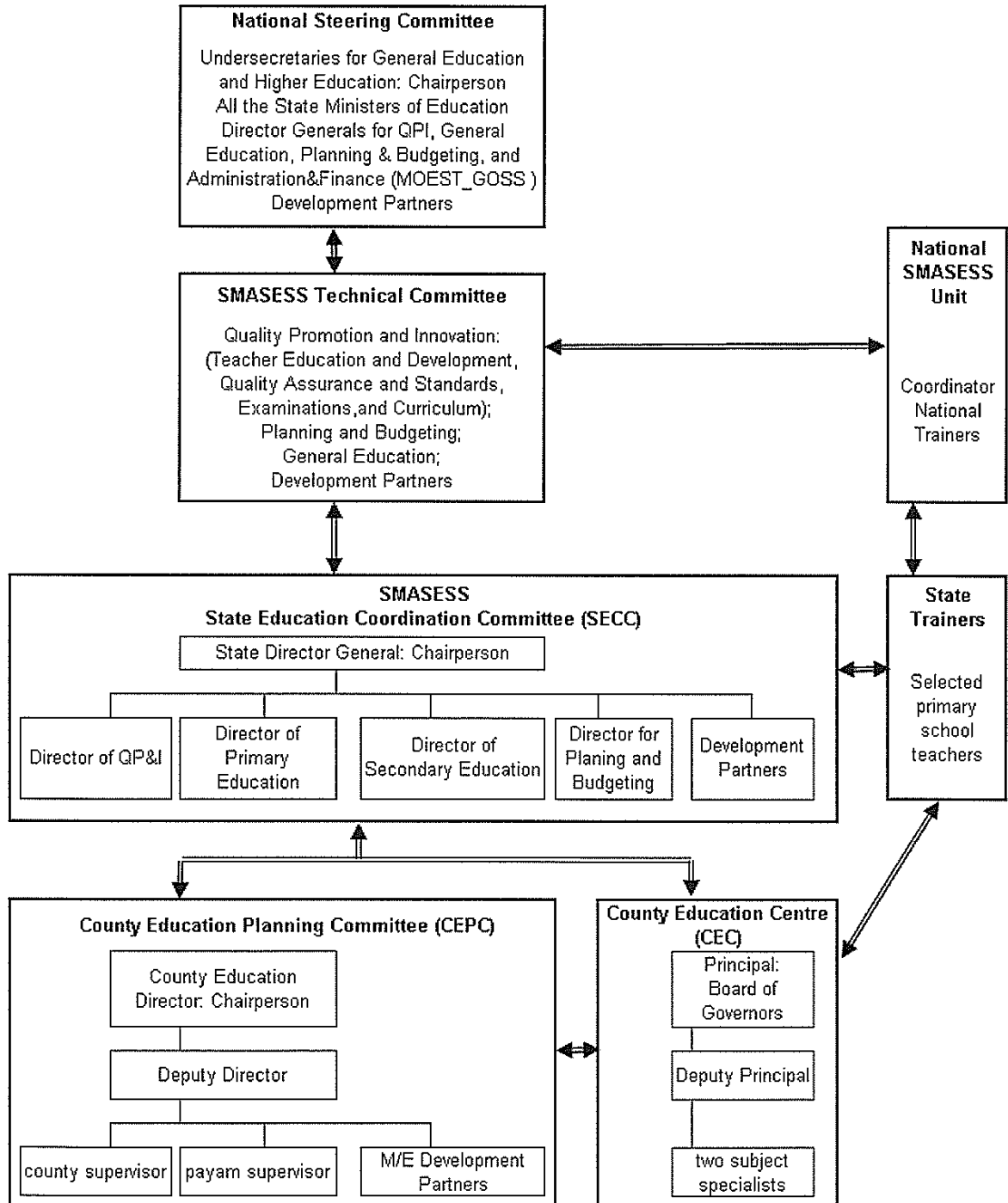
(b) The JICA side

Representatives from JICA Sudan Office
 JICA Experts
 Members of JICA study team, to be dispatched when necessary

(c) Other member(s) accepted by the Chair, as necessary




ADMINISTRATIVE STRUCTURE FOR SMASESS



Si

M

Administrative Frame	Roles
1. National Steering Committee (MOEST-GOSS)	<ul style="list-style-type: none"> a) Raise funds and finance SMASESS activities b) Formulate Policies c) Oversee implementation and monitoring of SMASESS activities d) Initiate training plans e) Sensitise the general public within/out about the programme
2. SMASESS Technical Committee (MOEST-GOSS)	<ul style="list-style-type: none"> a) Initiate and approve technical planning for SMASESS b) Ensure resources and the availability for SMASESS operations c) Maintain the SMASESS structure and encourage good relations within all the levels d) Carry out measurement and evaluation of SMASESS activities e) Provide professional guidance and advice for SMASESS activities f) Authorise the States to implement SMASESS activities in their situations
3. National SMASESS UNIT	<ul style="list-style-type: none"> a) Implement, supervise, coordinate, monitor, and evaluate design SMASESS trainings. b) Develop and revise SMASESS curriculum and materials (e.g. training manuals, evaluation tools) c) Train State Trainers d) Collaborate with other stakeholders to enhance SMASESS activities. e) Undertake data collection, compilation, and analysis for SMASESS activities. f) Make report to MOEST and development partners. g) Participate in MOEST publication forums to disseminate SMASESS activities. h) Keep records of activities, facilities/equipment, and materials provided to CECs (or equivalent) g) Integrate and supervise SMASESS training elements into the main In-service and Pre-service program for qualification




<p>4. State Education Coordination Committee (MOEST-STATES)</p>	<ul style="list-style-type: none"> a) Implement SMASESS activities at state level as planned. b) Mobilize resources and controls the resources for SMASESS activities as well as use them as planned. c) Act as a link and provide leadership to the County Education Planning Committees and CECs (or equivalent) as authorities. d) Carry out measurement and evaluation of SMASESS activities at state level. e) Sensitise community about SMASESS activities for support. f) Manage State Trainers g) Initiate regular SMASESS meetings and report to MOEST/GOSS about SMASESS activities h) Select State Trainers according to the criteria set by National SMASESS Unit i) Prepare invitation letters for Model Teachers and call them to the training in time.
<p>5. County Education Planning Committee (County Education Offices)</p>	<ul style="list-style-type: none"> a) Plan, implement and manage SMASESS activities at county level b) Carry out measurement and evaluation of SMASESS activities at county level c) Select Model Teachers d) Report to MOEST-GOSS/State about SMASESS activities e) Mobilise resources
<p>6. County Education Centre (or equivalent) (Principals)</p>	<ul style="list-style-type: none"> a) Manage CEC (or equivalent) programmes b) Work with the BOGs to mobilise and manage resources at the centre c) Organise CEC (or equivalent) meetings at the CEC (or equivalent) and ensure the training activities are carried out as planned. d) Participate in the selection of trainees. e) Report about INSET activities f) Do measurement and evaluation g) Encourage to initiate new training activities with




	<p>other development partners</p> <p>h) Share information and knowledge with other CEC (or equivalent) Principals.</p> <p>i) Keep records of activities and facilities/equipment and materials provided to the CEC (or equivalent)</p>
--	--



TERMS OF REFERENCES OF TRAINERS, COORDINATOR, AND MODEL TEACHERS

1. National Trainers

1) Terms of Reference

- Supervise, coordinate, monitor, and evaluate SMASESS activities.
- Develop and revise curriculum and training materials (e.g. training manuals, evaluation tools) for SMASESS training
- Provide SMASESS training for State Trainers
- Advise and assist State Trainers, Model Teachers, or other stakeholders in their SMASEE activities
- Undertake data collection, compilation, and analysis for SMASESS activities.

2) Number of National Trainers

Four (4) full-time National Trainers

* Two (2) for Mathematics and Two (2) for Science

Four (4) part-time National Trainers as Advisory Team

* Two (2) for Mathematics and Two (2) for Science

3) Selection Criteria for National Trainers

National Trainers should be

- Holders of Degree or Diploma in Education
- Practicing M/S Primary School Teachers or
- Tutors in NTTIs / Curriculum Developers at the CDC/ Inspectors
- Having teaching experience at least for three years
- Fluent in English
- Under 45 years of age
- Selected paying attention to the gender balance

4) Method of Assessment

The selected applicants will be assessed through

- Written/Oral Interviews related to content mastery and language
- Evaluation of Certificates

2. Coordinator

1) Terms of Reference

- Coordinate SMASESS activities within MOEST and with other relevant stakeholders
- Promote new training activities with other development partners
- Make report to MOEST and development partners
- Keep records of activities, facilities/equipment and materials regarding SMASESS
- Participate in MOEST publication forums to disseminate SMASESS activities.

2) Number of Coordinator

One (1) coordinator

3) Selection Criteria for Coordinator

Coordinator should be

- Holders of Degree or Diploma in Education
- Fluent in English
- Under 50 years of age
- Well organised, flexible with good communication and social skills
- Having basic PC skills

4) Method of Assessment

The selected applicants will be assessed through

- Written/Oral Interviews related to content mastery and language
- Evaluation of Certificates

3. State Trainers

1) Terms of Reference

- Plan and implement SMASESS activities at state level under cooperation with National SMASESS Unit, state governments, and development partners
- Provide SMASESS training for Model Teachers
- Make report to National SMASESS Unit state governments, and development partners
- Share information and knowledge with other State Trainers.

2) Number of State Trainers

Seventy (70) State Trainers (as total)

- * Seven (7) State Trainers are to be selected from each state, and to consist of three (3) Mathematics Teachers, three (3) Science Teachers, and one (1) Inspector.

3) Selection Criteria for State Trainers

State Trainers should be

- Holders of Degree or Diploma in Education
- Having teaching experience at least for three years
- Fluent in English
- Under 45 years of age
- Selected paying attention to the gender balance

4) Method of Assessment

The selected applicants will be assessed through

- Written/Oral Interviews related to content mastery and language
- Evaluation of Certificates

4. Model Teachers

1) Terms of Reference

Model Teachers are expected to be mentors on Mathematics and Science Education at the county level. They shall

- Participate in SMASESS training
- Share information and knowledge gained in SMASESS training with other teachers
- Advise and assist other teacher in the improvement of teaching of M/S
- Coordinate with principals and other stakeholders to promote SMASESS activities

2) Number of Model Teachers

One-hundred (100) to one-hundred fifty (150) Model Teachers per state

3) Selection Criteria for State Trainers

Model Teachers should be

- Practicing Primary School Teachers
- Having teaching experience at least for three years
- With certificate of Education
- Fluent in English
- Under 45 years of age
- Selected paying attention to the gender and geographical balance

4) Method of Assessment

The selected applicants will be assessed through

- Written/Oral Interviews related to content mastery and language
- Evaluation of Certificate




TERMS OF REFERENCE OF JICA EXPERTS

JICA shall dispatch experts, whose functions are as follows:

1) Teacher Training Policy (Long-term)


1. Advise and assist Department of Teachers Education, Ministry of Education and Science Technology, in formulating policy on Teachers Training
2. Advise and assist Department of Teachers Education, Ministry of Education and Science Technology in coordinating with developing partners working in the Southern Sudan in the field of Teacher Training
3. Advise and assist National SMASESS Unit on Teacher policy and planning in order to implement the Project smoothly

2) INSET Management (Long-term)

1. Advise and assist National SMASESS Unit in planning, implementing, monitoring and evaluating SMASESS activities.
2. Advise and assist the States in planning, implementing, monitoring and evaluating SMASESS activities

3) Mathematics and Science Education (Short-term)

1. Advise and assist National SMASESS Unit on Mathematics and Science Education
2. Advise and assist National SMASESS Unit on the SMASESS curriculum and material development
3. Advise and assist National SMASESS Unit to integrate SMASESS training materials into other teacher training programmes

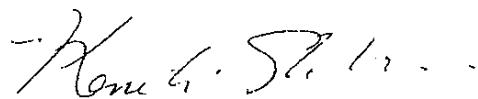


RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
SOUTHERN SUDAN
ON
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
STRENGTHENING MATHEMATICS AND SCIENCE EDUCATION
IN SOUTHERN SUDAN
(SMASESS)

Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") represented by JICA Sudan Office, exchanged views and had a series of discussions with the Southern Sudanese authorities concerned on the measures to be taken by JICA and the Government of Southern Sudan for the successful implementation of the Project for Strengthening Mathematics and Science Education in Southern Sudan (SMASESS).

As a result of the discussions, JICA and the Southern Sudanese authorities concerned agreed on the matters referred to in the document attached hereto.

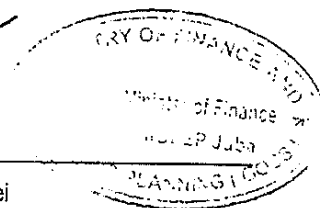
Juba, ^{October} 22 September, 2009



Mr. Kenichi Shishido
Resident Representative
JICA Sudan Office
Japan International Cooperation Agency



Mr. David Deng Athorbei
Minister
Ministry of Finance and Economic Planning
Government of Southern Sudan



THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN JICA AND THE GOVERNMENT OF SOUTHERN SUDAN

1. The Government of Southern Sudan will implement the Project “Strengthening Mathematics and Science Education in Southern Sudan (SMASESS)” (hereinafter referred to as “the Project”) in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Project Documents which includes Master Plan (I-1), Project Design Matrix (I-2), Plan of Operation (I-3) and Administration Structure of the Project (I-4) which are given in ANNEX I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan, JICA will take, at its own expense, the following measures according to the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of Japan.

1. DISPATCH OF EXPERTS

JICA will provide the services of the experts as listed in ANNEX II.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as “the Equipment”) necessary for the implementation of the Project as listed in ANNEX III. The Equipment will become the property of the Government of Southern Sudan upon being delivered C.I.F. (cost, insurance and freight) to the Southern Sudanese authorities concerned at the boundary of Southern Sudan and/or airports of disembarkation.

3. TRAINING OF SUDANESE PERSONNEL IN JAPAN AND/OR THIRD COUNTRIES

JICA will receive the Southern Sudanese personnel connected with the Project

for technical training in Japan and/or third countries.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF SOUTHERN SUDAN

1. The Government of Southern Sudan will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. The Government of Southern Sudan will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Southern Sudanese nationals as a result of Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of Southern Sudan.
3. The Government of Southern Sudan will grant privileges, exemptions and benefits as listed in ANNEX IV and will grant privileges, exemptions and benefits no less favorable than those granted to experts of third countries or international organizations performing similar missions to the JICA experts referred to in II-1 above.
4. The Government of Southern Sudan will ensure that the Equipment referred to in II-2 above will be utilized effectively for the implementation of the Project in consultation with the JICA experts referred to in ANNEX II.
5. The Government of Southern Sudan will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Southern Sudanese personnel from technical training in Japan and/or third countries will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the laws and regulations in force in Southern Sudan, the Government of Southern Sudan will take necessary measures to meet:
 - (1) Expenses necessary for transportation within Southern Sudan of the

Equipment referred to in II-2 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof;

- (2) Customs duties, internal taxes and any other charges, imposed in Southern Sudan on the Equipment referred to in II-2 above; and
- (3) Running expenses necessary for the implementation of the Project.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. Undersecretary, the Ministry of Education, Science, and Technology, the Government of Southern Sudan (hereinafter referred to as "GOSS-MOEST"), as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. Director General, Quality Promotion and Innovation Directorate, GOSS-MOEST, as the Project Manager, will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
3. The JICA Chief Advisor will provide necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The JICA experts will give necessary technical guidance and advice to the Southern Sudanese counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in ANNEX VII.

V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by JICA and the Southern Sudanese authorities concerned, at the middle and during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

VI. CLAIMS AGAINST JICA EXPERTS

The Government of Southern Sudan undertakes to bear claims, if any arises, against the JICA experts engaged in the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in Southern Sudan except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the JICA experts.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between JICA and the Government of Southern Sudan on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of Southern Sudan, the Government of Southern Sudan will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of Southern Sudan.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the Project under this Attached Document will be 3 years from the date of the first dispatch of experts.(Tentatively scheduled in November 2009)

X. COST SHARING OF THE BUDGET

Both JICA and the Government of Southern Sudan have jointly elaborated the details on cost demarcation and estimation for the implementation of the Project. The details of the cost sharing are shown in ANNEX VIII, which are the guideline for the both sides. The both sides should make joint efforts to secure the necessary budget allocation and its disbursement. Moreover, detail budget will be consulted among the both sides each year according to the progress of the Project. The amount which is shown in ANNEX VIII is NOT committed by JICA side and it only shows the demarcation of cost sharing between the Government of Southern Sudan and JICA.

XI. MODEL STATES

Both JICA and the Government of Southern Sudan have agreed to select one (1) model state from each of three Regions of Southern Sudan (Greater Upper Nile Region, Greater Bahr El Ghazal Region and Greater Equatoria Region). Accordingly the number of model states will be three (3). Model states shall be selected according to the criteria set by Ministry of Education, Science and Technology, the Government of Southern Sudan. It is also noted that the inclusion of other states as model states will be discussed based on the progress of the Project and the readiness of those states at Joint Coordinating Committee, which is supposed to be held one year after the Project starts.

ANNEX I	PROJECT DOCUMENTS
ANNEX II	LIST OF EXPERTS
ANNEX III	LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT
ANNEX IV	PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS FOR JICA EXPERTS
ANNEX V	LIST OF SOUTHERN SUDANESE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL
ANNEX VI	LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES
ANNEX VII	JOINT COORDINATING COMMITTEE
ANNEX VIII	COST DEMARCATION AND ESTIMATION

ANNEX I PROJECT DOCUMENTS

I-1) MASTER PLAN

<Overall goal>

Teaching skills of primary teachers in mathematics and science are improved.

<Project Purpose>

Teaching skills of Model Teachers in mathematics and science are improved.

<Outputs>

1. The body / unit to implement SMASESS training at National and State levels is established.
2. Ability of State Trainers is enhanced.
3. The SMASESS training structure for Model Teachers is developed in model states
4. The supporting system for teacher training policy and SMASESS activities is strengthened.

<Activity>

- 1-1 To set TOR and recruitment criteria for National Trainers, a Coordinator and State Trainers.
- 1-2 To equip an office for National SMASESS unit.
- 1-3 To assign full time National Trainers and a Coordinator.
- 1-4 To assign part-time National Trainers as an advisory team.
- 1-5 To conduct SMASESS training for National Trainers.
- 1-6 To select State Trainers

- 2-1 To develop and modify training materials for SMASESS training for State Trainers.
- 2-2 To develop monitoring and evaluation tools for SMASESS training for State Trainers.
- 2-3 To conduct SMASESS training for State Trainers by National Trainers.
- 2-4 To conduct monitoring and evaluation of SMASESS training for State Trainers

- 3-1 To set criteria and select model states.
- 3-2 To set criteria and select Model Teachers.
- 3-3 To conduct Needs Survey in model states.
- 3-4 To develop training materials for SMASESS training for Model Teachers.
- 3-5 To develop monitoring and evaluation tools for SMASESS training for Model Teachers.

- 3-6 To print and distribute training materials to model states.
- 3-7 To conduct SMASESS training for Model Teachers by State Trainers
- 3-8 To conduct monitoring and evaluation of SMASESS training for Model Teachers by National Trainers.

- 4-1 To review the current policy and planning on teacher training.
- 4-2 To assist in formulating and implementing policy on teacher training especially for the prioritized area in harmony with other teacher training programs implemented by other development partners
- 4-3 To conduct SMASESS training for TTI tutors.
- 4-4 To conduct advocacy and sensitization workshops for school principals and other key stakeholders
- 4-5 To promote and popularize the activities of the project by such activities as publishing newsletter

I-2) PROJECT DESIGN MATRIX*

The Project will be implemented within the framework of the Project Design Matrix (PDM) shown below. The PDM is an effective tool for managing and implementing projects. The PDM is characterized as follows:

- (1) PDM is a logically designed matrix which defines the initial understanding of the framework for the Project and indicates the logical steps towards the achievement of the Project Purpose.
- (2) PDM is to be flexibly developed according to progress and achievement of the Project, upon agreement between the Japanese and Southern Sudan sides.
- (3) It is also used as a reference for monitoring and evaluating the Project.

Executing Bodies: Ministry of Education and Science Technology (MOEST)-GOSS and Japan International Cooperation Agency (JICA)

Target Area: Southern Sudan

Duration: 3 years (2009 – 2012)

Version No.1.0 (September, 2009)

Narrative Summary	Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
Super Goal Capability of primary school pupils in mathematics and science is improved.	-Positive change of students' attitude and participation in classroom activities - Results of achievement in Examination	- MOEST report -National Examination	
Overall Goal Teaching skills of primary teachers in mathematics and science are improved.	- Positive change of teachers' attitude toward mathematics and science education	-Ex-post Evaluation	
Project Purpose Teaching skills of Model Teachers in mathematics and science are improved.	By the end of the project, 1. Model Teachers obtain over *** points with "Lesson Innovation Index". 2. Model Teachers obtain over *** points with "Lesson Observation Index". 3. Model Teachers obtain over *** points with "ASEI / PDSI check list".	Project monitoring and evaluation reports	Model Teachers will share information and knowledge gained in SMASESS training with other teachers

<p>Output(s): 1. The body / unit to implement SMASESS training at National and State levels is established.</p>	<p>By the end of the project, 1-(a) 8 National Trainers are trained (both full time & part time) 1- (b) 1 Coordinator and 4 National Trainers are selected and work for the project. 1-(c) 70 State Trainers are selected and work for the project.</p>	<p>Project monitoring and evaluation reports</p>	<p>- Model Teachers will not leave teaching field for another profession. - Revenue of GOSS will not greatly be decreased by such as oil price down - General Election and Referendum will not affect the project - Personnel shuffle will not often occur in GOSS</p>
<p>2. Ability of State Trainers is enhanced.</p>	<p>By the end of the project, 2-(a) 70 State Trainers are trained. 2-(b) Training for State Trainers is assessed over *** points with "Quality of INSET Assessment Index".</p>	<p>Project monitoring and evaluation reports</p>	
<p>3. The SMASESS training structure for Model Teachers is developed in model states.</p>	<p>By the end of the project, 3-(a) 3 cycle of training modules are developed. 3-(b) Evaluation tools for SMASESS training for Model Teachers are developed. 3-(c) Training for Model Teachers is conducted three times 3-(d) Training for Model Teachers is assessed over *** points with "Quality of INSET Assessment Index"</p>	<p>Project monitoring and evaluation reports</p>	
<p>4. The supporting system for teacher training policy, planning and implementation of SMASESS activities is strengthened.</p>	<p>By the end of the project, 4-(a) SMASESS activities and experience are incorporated into teachers training policy and/or</p>	<p>Project monitoring and evaluation reports</p>	

	<p>programs 4-(b) SMASESS activities are recognized well among stakeholders in education field 4-(c) A total of over 600 stakeholders participates in advocacy and sensitization workshops. 4-(d) Newsletters on the project activities are issued more than six times.</p>		
<p>Activities 1-1 To set TOR and recruitment criteria for National Trainers, a Coordinator and State Trainers. 1-2 To equip an office for National SMASESS unit. 1-3 To assign full time National Trainers and a Coordinator. 1-4 To assign part-time National Trainers as an advisory team. 1-5 To conduct SMASESS training for National Trainers. 1-6 To select State Trainers.</p>	<p>Input: <Government of Southern Sudan > a) National Trainers, a Coordinator and State Trainers b) Land for an office c) Venue for training <JICA> a) Dispatch of experts b) Office and its facilities c) Provision of equipments d) Training abroad e) Training materials</p>		<p>National and State Trainers will not leave teaching field for another profession. Funds will be timely released by the Government. SMASE-WECSA will continue to support SMASESS activities. Precondition: Policy on teachers training both at GOSS and states level will not change</p>
<p>2-1 To develop and modify training materials for SMASESS training for State Trainers. 2-2 To develop monitoring and evaluation tools for SMASESS training for State Trainers. 2-3 To conduct SMASESS training for State Trainers by National Trainers. 2-4 To conduct monitoring and evaluation of SMASESS training for State Trainers.</p>			

<p>3-1 To set criteria and select model states. 3-2 To set criteria and select Model Teachers. 3-3 To conduct Needs Survey in model states. 3-4 To develop training materials for SMASESS training for Model Teachers. 3-5 To develop monitoring and evaluation tools for SMASESS training for Model Teachers. 3-6 To print and distribute training materials to model states. 3-7 To conduct SMASESS training for Model Teachers by State Trainers 3-8 To conduct monitoring and evaluation of SMASESS training for Model Teachers by National Trainers.</p>			
<p>4-1 To review the current policy and planning on teacher training. 4-2 To assists in fomulating policy and planning on teacher training in harmony with other teacher training programs implemented by other development partners. 4-3 To conduct SMASESS training for TTI tutors. 4-4 To conduct advocacy and sensitization workshops for school principals and other key stakeholders. 4-5 To publish newsletters on the activities of the project. 4-6 To promote and popularize the activities of the project through the media as the need arises.</p>			

* Indexes shown above are supposed to be developed on the basis of those which Kenya SMASE project developed.

* The target figures of each index will be set when those index are developed or in Needs Survey

I-3) Plan of Operation (PO)

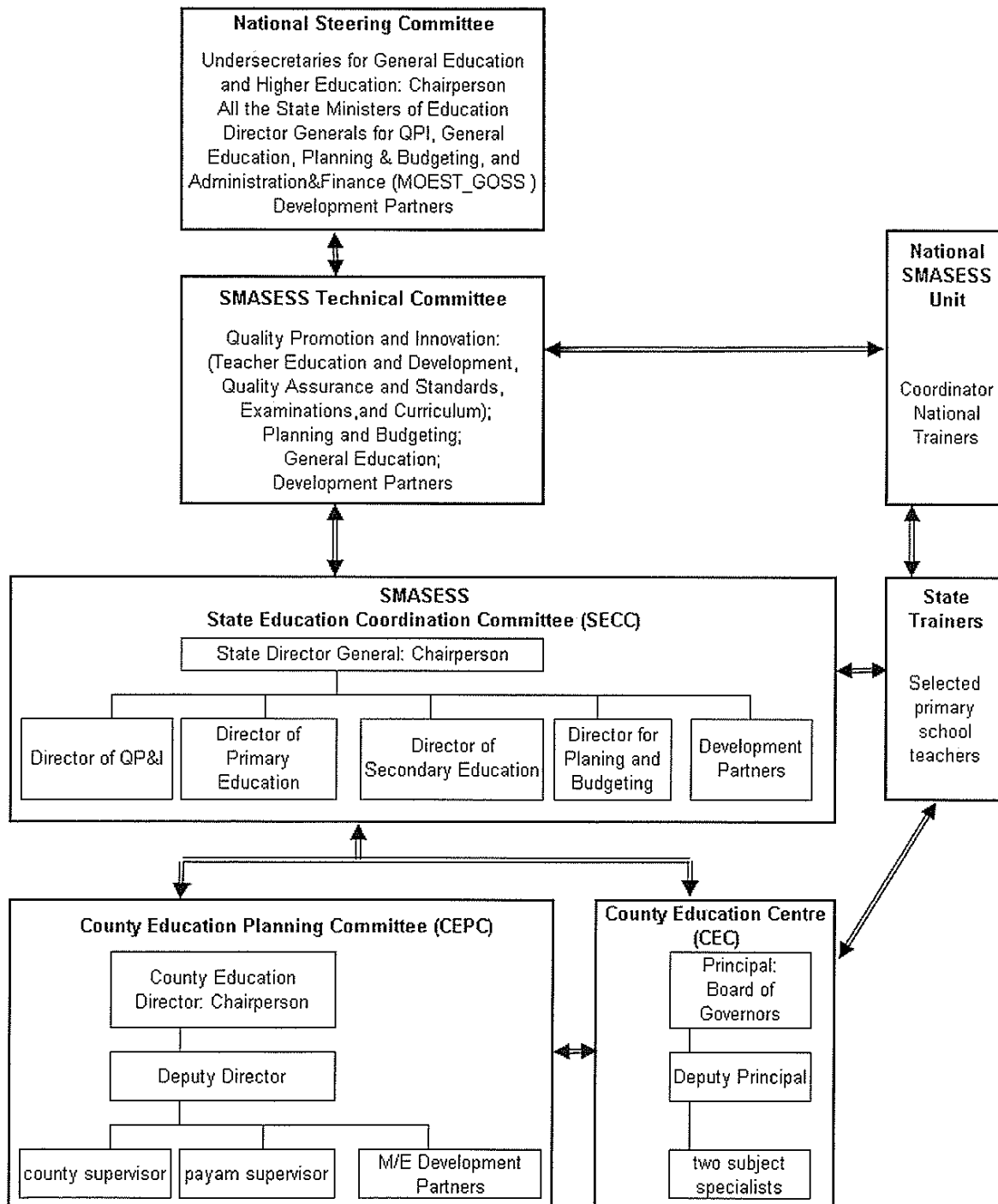
The Block shows the time schedule of the activities.

Output	Activities	Responsible person / organisation	2009												2010												2011												2012											
			10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
1. The body / unit to implement SMASESS training at National and State levels is established.	1-1 To set TOR and recruitment criteria for National Trainers, a Coordinator and State Trainers.	MoEST / JICA	■																																															
	1-2 To equip an office for National SMASESS unit.	MoEST / JICA	■																																															
	1-3 To assign full time National Trainers and a Coordinator.	MoEST	■																																															
	1-4 To assign part-time National Trainers as an advisory team.	MoEST	■																																															
	1-5 To conduct SMASESS training for National Trainers.	JICA/Kenya SMASE	■																																															
2. Ability of State Trainers is enhanced.	2-1 To select State Trainers.	NSU	■																																															
	2-2 To develop and modify training materials for SMASESS training for State Trainers.	NSU	■																																															
	2-3 To develop monitoring and evaluation tools for SMASESS training for State Trainers.	NSU	■																																															
	2-4 To conduct SMASESS training for State Trainers by National Trainers.	NSU	■																																															
	2-5 To conduct monitoring and evaluation of SMASESS training for State Trainers.	NSU/JICA	■																																															
3. The SMASESS training structure for Model Teachers functions in model states	3-1 To set criteria and select model states.	NSU	■																																															
	3-2 To set criteria and select Model Teachers.	NSU	■																																															
	3-3 To conduct Needs Survey in model states.	NSU	■																																															
	3-4 To develop training materials for SMASESS training for Model Teachers.	NSU	■																																															
	3-5 To develop monitoring and evaluation tools for SMASESS training for Model Teachers.	NSU	■																																															
	3-6 To print and distribute training materials to model states.	NSU	■																																															
	3-7 To conduct SMASESS training for Model Teachers by State Trainers	NSU / State Trainers	■																																															
	3-8 To conduct monitoring and evaluation of SMASESS training for Model Teachers by National Trainers.	NSU	■																																															
4. The supporting system for teacher training policy and SMASESS activities is strengthened	4-1 To review the current policy and planning on teacher training.	MoEST	■																																															
	4-2 To assist in formulating policy and planning on teacher training in harmony with other teacher training programs implemented by other development partners.	NSU	■																																															
	4-3 To conduct SMASESS training for TTI tutors.	NSU	■																																															
	4-4 To conduct advocacy and sensitization workshops for school principals and other key stakeholders.	NSU	■																																															
	4-5 To promote and popularize the activities of the project by such activities as publishing newsletter	NSU	■																																															

*The Plan of Operation is to be drafted by the Southern Sudan counterparts and the Japanese side jointly and is to be submitted to the Joint Coordination Committee. The activities are subject to change within the scope of the Record of Discussions, if necessity arises in the course of the Project implementation.

I-4) ADMINISTRATIVE STRUCTURE FOR SMASESS

The Organization chart of the Project is shown below.



Administrative Frame	Roles
1. National Steering Committee (MOEST-GOSS)	<ul style="list-style-type: none"> a) Raise funds and finance SMASESS activities b) Formulate Policies c) Oversee implementation and monitoring of SMASESS activities d) Initiate training plans e) Sensitise the general public within/out about the programme
2. SMASESS Technical Committee (MOEST-GOSS)	<ul style="list-style-type: none"> a) Initiate and approve technical planning for SMASESS b) Ensure resources and the availability for SMASESS operations c) Maintain the SMASESS structure and encourage good relations within all the levels d) Carry out measurement and evaluation of SMASESS activities e) Provide professional guidance and advice for SMASESS activities f) Authorise the States to implement SMASESS activities in their situations
3. National SMASESS UNIT	<ul style="list-style-type: none"> a) Implement, supervise, coordinate, monitor, and evaluate design SMASESS trainings. b) Develop and revise SMASESS curriculum and materials (e.g. training manuals, evaluation tools) c) Train State Trainers d) Collaborate with other stakeholders to enhance SMASESS activities. e) Undertake data collection, compilation, and analysis for SMASESS activities. f) Make report to MOEST and development partners. g) Participate in MOEST publication forums to disseminate SMASESS activities. h) Keep records of activities, facilities/equipment, and materials provided to CECs (or equivalent) g) Integrate and supervise SMASESS training elements into the main In-service and Pre-service program for qualification

<p>4. State Education Coordination Committee (MOEST-STATES)</p>	<ul style="list-style-type: none"> a) Implement SMASESS activities at state level as planned. b) Mobilize resources and controls the resources for SMASESS activities as well as use them as planned. c) Act as a link and provide leadership to the County Education Planning Committees and CECs (or equivalent) as authorities. d) Carry out measurement and evaluation of SMASESS activities at state level. e) Sensitise community about SMASESS activities for support. f) Manage State Trainers g) Initiate regular SMASESS meetings and report to MOEST/GOSS about SMASESS activities h) Select State Trainers according to the criteria set by National SMASESS Unit i) Prepare invitation letters for Model Teachers and call them to the training in time.
<p>5. County Education Planning Committee (County Education Offices)</p>	<ul style="list-style-type: none"> a) Plan, implement and manage SMASESS activities at county level b) Carry out measurement and evaluation of SMASESS activities at county level c) Select Model Teachers d) Report to MOEST-GOSS/State about SMASESS activities e) Mobilise resources
<p>6. County Education Centre (or equivalent) (Principals)</p>	<ul style="list-style-type: none"> a) Manage CEC (or equivalent) programmes b) Work with the BOGs to mobilise and manage resources at the centre c) Organise CEC (or equivalent) meetings at the CEC (or equivalent) and ensure the training activities are carried out as planned. d) Participate in the selection of trainees. e) Report about INSET activities f) Do measurement and evaluation g) Encourage to initiate new training activities with other development partners h) Share information and knowledge with other CEC (or equivalent) Principals. i) Keep records of activities and facilities/equipment and materials provided to the CEC (or equivalent)

ANNEX II LIST OF EXPERTS

Experts in the following fields will be dispatched by JICA.

- Teacher Training Policy / Chief Advisor
- INSET (In-service Training) Management
- Other fields as necessary

ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

Machinery and equipment below will be provided by JICA for the implementation of the Project.

- Part of equipment for project office
- Part of equipment for training
- Other machinery and equipment as necessary

ANNEX IV PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS FOR JICA EXPERTS

The Government of Southern Sudan shall:

1. Exempt the JICA experts from income tax and other charges of any kind imposed on or in connection with the living allowances remitted from abroad.
2. Exempt the JICA experts from income tax, import duties and any other charges imposed on personal household effects brought into Southern Sudan.
3. Use all available means to facilitate medical and other necessary assistance to the JICA experts.
4. Issue, upon application, entry/exit visas and travel permissions for the JICA experts free of charge.
5. NOT request work permissions to the JICA experts
6. Issue identification cards to the JICA experts to secure the cooperation of all governmental organizations necessary for the performance of the duties of the experts.
7. Exempt the JICA experts from customs duties on import and export of machinery and equipment into or out of Southern Sudan by the JICA experts in connection with the Project activities.

ANNEX V LIST OF COUNTERPARTS AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

Counterpart and administrative personnel below will be assigned by Southern Sudanese Government.

- Project Director: Undersecretary, GOSS-MOEST
- Project Manager: Director General, Quality Promotion and Innovation Directorate, GOSS-MOEST
- Four (4) Full-Time National Trainers
- Four (4) Part-Time National Trainers
- One (1) Coordinator
- Seventy (70) State Trainers

ANNEX VI LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

The followings shall be provided and their maintenance be ensured as Southern Sudanese inputs.

- Land space for the project office in GOSS-MOEST or other appropriate place.
- Administrative and operational costs for the project, including those for electricity and water supply
- Other facilities and services mutually agreed upon, as necessary

The following will be provided by JICA.

- One container/rehabilitated house as the Project office
- Part of upgrading of the training venues at the state level

ANNEX VII JOINT COORDINATING COMMITTEE (JCC)

The Joint Coordinating Committee, which consists both of the GOSS side and JICA side, will be established for the smooth and effective implementation of the Project.

1. Functions

The Joint Coordinating Committee will meet at least once a year or whenever the necessity arises, in order to fulfill the following functions:

- (1) To discuss the Annual Plan of Operation of the Project
- (2) To review the overall progress of the Project and achievement of the technical cooperation
- (3) To make decisions on major issues arising from or in connection with implementation of the Project.

2. Members

(a) The GOSS side

Undersecretary, MOEST-GOSS (Chair)
Director General of Quality Promotion and Innovation (MOEST-GOSS)
Director General of General Education (MOEST-GOSS)
Director of Teacher Education and Development (MOEST-GOSS)
Director of Quality Assurance and Standards (MOEST-GOSS)
Director of Administration and Finance (MOEST-GOSS)
Director of Planning and Budgeting (MOEST-GOSS)
Representatives from Ministry of Regional Cooperation (MRC)
Representatives from Ministry of Finance
Representatives from Development Partners

(b) The JICA side

Representatives from JICA Sudan Office
JICA Experts
Members of JICA study team, to be dispatched when necessary

(c) Other member(s) accepted by the Chair, as necessary

ANNEX VIII COST DEMARCATION AND ESTIMATION

1) COST DEMARCATION

Items		GOSS	JICA
General	Assignment of a full-time coordinator and 4 full-time National Trainers (NTs)	•	
	Assignment of 4 part-time National Trainers as Advisory Team	•	
	Assignment of 70 State Trainers (STs)	•	
	Dispatch of Experts		•
	Land (space) for office	•	
	Office and its facilities		•
	Training abroad		•
	Vehicle (1)		•
Training for National Trainers in Kenya	Training cost at CEMASTEVA (including accommodation and meals)		•
	International Airfare		•
	Visa and airport tax	•	
	Allowances for NTs	•	
	Domestic Transportation	•	
Training for State Trainers	Arrangement of Venue	•	
	Accommodation		•
	Allowances for NTs & STs	•	
	Transportation (by air) for NTs & STs		•
	Transportation (by car) for NTs & STs	•	
	Training Materials		•
Training for Model Teachers in model states	Arrangement of Venue	•	
	Meals		•
	Allowances for STs	•	
	Transportation cost for STs and Model Teachers	•	
	Initial Cost for CEC or equivalent (sleeping mat less and essential equipment for training)		•
	Training Materials		•
	Monitoring cost for NTs		•
	Certificate of attendance		•

2) COST ESTIMATION

SUMMARY

Estimate in US\$

	2009	2010	2011	2012	Total
JICA	296,606	1,171,339	1,172,839	1,044,199	3,684,983
(Direct/ Off-budget)*	182,606	487,339	461,439	446,799	1,578,183
(Indirect/ Off-budget)**	114,000	684,000	711,400	597,400	2,106,800
MOEST-GOSS	26,740	183,030	178,530	167,950	556,250
Total	323,346	1,354,369	1,351,369	1,212,149	4,241,233
JICA	91.7%	86.5%	86.8%	86.1%	86.9%
MOEST-GOSS	8.3%	13.5%	13.2%	13.9%	13.1%

Estimate in SDG (\$ 1= 2.5SDG)

	2009	2010	2011	2012	Total
JICA	741,515	2,928,348	2,932,098	2,610,498	9,212,458
MOEST-GOSS	66,850	457,575	446,325	419,875	1,390,625
Total	808,365	3,385,923	3,378,423	3,030,373	10,603,083

*This amount is not committed by JICA side. This only shows the demarcation of cost sharing between GoSS and JICA.

**This figure is tentative and is not committed by JICA side.

In the following pages, the details of JICA's "Direct/Off-budget" and MOEST-GOSS's budget are shown.

The cost for participating Third country Training Program (TCCP) by Kenya SMASE project and SMASE-WECSA Conference will be covered by the budget of Kenya SMASE project. The detail cost covered by Kenya SMASE project is shown in G.I.

1st year (2009) Analysis of Budget

	Items	Unit USD	Quantity		Total	Responsible Organisation	
			Frequency	persons			
National Level Activities	Module	Module development (See ANNEX VIII-2)-6.)			14,000	JICA	
	Launch Sensitization WS	Transportation for participants (Air tickets for NTs and other participants)	200	2	30	12,000	JICA
		Transportation for NTs and participants (not by air)	100	2	11	2,200	MOEST
		Allowance for participants	50	4	22	4,400	MOEST
		Allowance for NTs and SNTs	15	4	19	1,140	MOEST
		Conference Hall Hire	700	2	1	1,400	JICA
		Car Hire for transport to Conference Hall	270	1	1	270	JICA
		Accommodation	130	1	70	9,100	JICA
		Meals for NTs & participants	20	2	70	2,800	JICA
States	Follow-up	Local Consultants/ NGO for the monitoring & follow-up	2,000	3	1	6,000	JICA
Administration		Water, electricity, phone	200	5	1	1,000	MOEST
		Space for the office	4,000	1	1	4,000	MOEST
		Office Setup (incl. air conditioner, safety grid, fencing, electricity cable)	Lumpsum	1	1	55,000	JICA
		Driver	178	2	1	356	JICA
		Secretary	1,500	2	1	3,000	JICA
		Installation of Internet	8,000	1	1	8,000	JICA
		Monthly payment of Internet	400	1	3	1,200	JICA
		Computer (incl. laptop computers)	500	1	7	3,500	JICA
		Projector	300	1	3	900	JICA
		Video camera	500	1	1	500	JICA
		Digital Camera	200	1	2	400	JICA
		Printers	500	1	2	1,000	JICA
		Colour Printer	700	1	1	700	JICA
		UPS	200	1	5	1,000	JICA
		Safety Box	600	1	1	600	JICA
		Vehicle 4x4	40,000	1	1	40,000	JICA
		Flip Chart	70	1	4	280	JICA
		Office furniture/ Maintenance of equipment in the office	Lumpsum			4,000	JICA
		Car maintenance	100	5	1	500	JICA
		Car insurance	600	1	1	600	JICA
		Fuel and oil	250	1	2	500	JICA
		Postal fee	Lumpsum			1,500	JICA
		Salary for National Trainers	540	5	4	10,800	MOEST
		Salary for Coordinator	640	5	1	3,200	MOEST
	Paper	Lumpsum			500	JICA	
	Car rental	100	10	1	1,000	JICA	
	Local Consultants	2,000	2	3	12,000	JICA	
Total					209,346		
Budget Share		MOEST			26,740		
		JICA			182,606		

2nd year (2010) Analysis of Budget

	Items	Unit USD	Quantity		Total	Responsible Organisation		
			Frequency	persons				
National Level Activities	Module	Module development (See ANNEX VII-2)-6.)			15,750	JICA		
	SMASESS Training for National Training (in Kenya)	Training in Kenya (food & accommodation)	500	2	9	9,000	JICA	
		Air ticket for International flights + insurance	800	1	8	6,400	JICA	
		Domestic Transportation	100	2	9	1,800	MOEST	
		WECSA annual fees	200	1	1	200	MOEST	
		Allowance for NTs	50	21	9	9,450	MOEST	
		VISA and airport TAX	120	1	9	1,080	MOEST	
	Sensitization (review) workshops in three regions	Transportation for participants (Air Tickets for NTs and other participants)	200	2	90	36,000	JICA	
		Transportation for NTs and participants (not by air)	100	2	100	20,000	MOEST	
		Allowance for participants	50	2	170	17,000	MOEST	
		Allowance for NTs and SNTs	15	2	19	570	MOEST	
		Car Hire	100	3	2	600	JICA	
		Accommodation	50	1	140	7,000	JICA	
	SMASESS Training for State Trainers	Meals for NTs & participants	20	2	190	7,600	JICA	
		Transportation (by air) for NTs & STs	200	2	49	19,600	JICA	
		Transportation (by car) for NTs & STs	100	2	30	6,000	MOEST	
		Accommodation for NTs & STs	75	14	90	94,500	JICA	
		Meals for NTs & STs	10	14	90	12,600	JICA	
		Materials and kits for participants	Lumpsum			500	JICA	
		Allowance for NTs & STs	15	14	90	18,900	MOEST	
		Air ticket for International flights + insurance (Third Country Experts)	800	1	3	2,400	JICA	
		Food & accommodation (Third Country Experts)	1,536	1	3	4,608	JICA	
	SMASESS Training for TTI Tutors	Transportation (by air) for NTs & TTI tutors	200	2	21	8,400	JICA	
		Transportation (by car) for NTs & TTI tutors	100	2	20	4,000	MOEST	
		Accommodation for NTs & TTI tutors	75	14	41	43,050	JICA	
		Meals for NTs & TTI tutors	10	14	41	5,740	JICA	
		Materials and kits for participants	Lumpsum			250	JICA	
		Allowance for NTs & TTI tutors	15	14	50	10,500	MOEST	
	State Support	Support to 8 States to conduct pilot training	5,000	1	8	40,000	MOEST	
	Activities in Model States	Needs Survey	Needs Survey (See ANNEX VII-2)-6.)			25,900	JICA	
		Module	Allowance for NTs, STs and Officers	15	15	20	4,500	MOEST
		Sensitization workshop	Module development (See ANNEX VII-2)-6.)				16,360	JICA
			Transportation for participants	20	3	120	7,200	MOEST
			Allowance for participants	15	1	180	2,700	MOEST
			Transportation (by car) for NTs	100	3	5	1,500	MOEST
			Transportation (by air) for NTs and Officers	200	3	6	3,600	JICA
			Accommodation for NTs and Officers	75	9	2	1,350	JICA
			Allowance for NTs, STs and Officers	30	6	25	4,500	MOEST
		SMASESS Training for Model Teachers	Meals for NTs & participants	10	3	200	6,000	JICA
			Transportation for STs and model Teachers	20	6	160	19,200	MOEST
			Transportation for NTs (Car/Air)	800	3		2,400	JICA
			Food for NTs & Model Teachers	3	21	340	21,420	JICA
Materials and kits for participants			1,000	Lumpsum	3	3,000	JICA	
Allowance for STs			15	21	14	4,410	MOEST	
Employment of support staff (cooking, cleaning etc)			10	21	2	420	MOEST	
Initial Cost for venues (e.g. sleeping matless, mosquito nets, bedsheets)			145		510	73,950	JICA	
Certificate of attendance			3		450	1,350	JICA	
Monitoring for SMASESS for Model Teachers		Experimental equipments for science	Lumpsum		3	1,500	JICA	
		Transportation Fee for NTs by car (2 states)	100	8	2	1,600	JICA	
		Transportation Fee for NTs by air (one state)	200	4	2	1,600	JICA	
		Meal & accommodation	75	15	11	12,375	JICA	
		Allowance for NTs	15	15	4	900	MOEST	
		Local Consultants/ NGO for the monitoring & follow-up	2,000	3	2	12,000	JICA	
Administration		Water, electricity, phone, internet	200	12	1	2,400	MOEST	
		Driver	178	12	1	2,136	JICA	
		Secretary	1,500	12	1	18,000	JICA	
	Office maintenance (Repair etc)	100	12		1,200	JICA		
	Office maintenance (Security, cleaning etc)	250	12		3,000	MOEST		
	Car maintenance	100	12		1,200	JICA		
	Car insurance	600	1	1	600	JICA		
	Fuel and oil	250		10	2,500	JICA		
	Salary for National Trainers	540	12	4	2,160	MOEST		
	Salary for Coordinator	640	12	1	640	MOEST		
	Stationary, Postal Fee	Lumpsum			3,000	JICA		
Promotion	Publication of bulletin	Lumpsum			300	JICA		
Total					670,369			
Budget Share			MOEST		183,030			
			JICA		487,339			

3rd year (2011) Analysis of Budget								
	Items	Unit USD	Quantity		Total	Responsible Organisation		
			Frequency	persons				
National Level Activities	Module	Module development (See ANNEX VIII-2)-6.)			15,750	JICA		
	SMASESS Training for National Training (in Kenya)	Training in Kenya (food & accommodation)	500	2	9	9,000	JICA	
		Air ticket for International flights + insurance	800	1	8	6,400	JICA	
		Domestic Transportation	100	2	9	1,800	MOEST	
		WECSA annual fees	200	1	1	200	MOEST	
		Allowance for NTs	50	21	9	9,450	MOEST	
		VISA and airport TAX	120	1	9	1,080	MOEST	
	Sensitization (review) workshops in three regions	Transportation for participants (Air Tickets for NTs and other participants)	200	2	90	36,000	JICA	
		Transportation for NTs and participants (not by air)	100	2	100	20,000	MOEST	
		Allowance for participants	50	2	170	17,000	MOEST	
		Allowance for NTs and SNTs	15	2	19	570	MOEST	
		Car Hire	100	3	2	600	JICA	
		Accommodation	50	1	140	7,000	JICA	
	SMASESS Training for State Trainers	Meals for NTs & participants	20	2	190	7,600	JICA	
		Transportation (by air) for NTs & STs	200	2	49	19,600	JICA	
		Transportation (by car) for NTs & STs	100	2	30	6,000	MOEST	
		Accommodation for NTs & STs	75	14	90	94,500	JICA	
		Meals for NTs & STs	10	14	90	12,600	JICA	
		Materials and kits for participants	Lumpsum			500	JICA	
		Allowance for NTs & STs	15	14	90	18,900	MOEST	
		Air ticket for International flights + insurance (Third Country Experts)	800	1	3	2,400	JICA	
		Food & accommodation (Third Country Experts)	1,536	1	3	4,608	JICA	
	SMASESS Training for TTI Tutors	Transportation (by air) for NTs & TTI tutors	200	2	21	8,400	JICA	
		Transportation (by car) for NTs & TTI tutors	100	2	20	4,000	MOEST	
		Accommodation for NTs & TTI tutors	75	14	41	43,050	JICA	
		Meals for NTs & TTI tutors	10	14	41	5,740	JICA	
		Materials and kits for participants	Lumpsum			250	JICA	
		Allowance for NTs & TTI tutors	15	14	50	10,500	MOEST	
	State Support	Support to 8 States to conduct pilot training	5,000	1	8	40,000	MOEST	
	Activities in Model States	Module	Module development (See ANNEX VIII-2)-6.)			16,360	JICA	
		Sensitization workshop	Transportation for participants	20	3	120	7,200	MOEST
			Allowance for participants	15	1	180	2,700	MOEST
			Transportation (by car) for NTs	100	3	5	1,500	MOEST
			Transportation (by air) for NTs and Officers	200	3	6	3,600	JICA
			Accommodation for NTs and Officers	75	9	2	1,350	JICA
			Allowance for NTs, STs and Officers	30	6	25	4,500	MOEST
Meals for NTs & participants			10	3	200	6,000	JICA	
SMASESS Training for Model Teachers		Transportation for STs and model Teachers	20	6	160	19,200	MOEST	
		Transportation for NTs (Car/Air)	800	3		2,400	JICA	
		Food for NTs & Model Teachers	3	21	340	21,420	JICA	
		Materials and kits for participants	1,000	Lumpsum	3	3,000	JICA	
		Allowance for STs	15	21	14	4,410	MOEST	
		Employment of support staff (cooking, cleaning etc)	10	21	2	420	MOEST	
		Initial Cost for venues (e.g. sleeping matless, mosquito nets, bedsheets)	145		510	73,950	JICA	
		Certificate of attendance	3		450	1,350	JICA	
		Experimental equipments for science	Lumpsum		3	1,500	JICA	
Monitoring for SMASESS for Model Teachers		Transportation Fee for NTs by car (2 states)	100	8	2	1,600	JICA	
		Transportation Fee for NTs by air (one state)	200	4	2	1,600	JICA	
		Meal & accommodation	75	15	11	12,375	JICA	
		Allowance for NTs	15	15	4	900	MOEST	
		Local Consultants/ NGO for the monitoring & follow-up	2,000	3	2	12,000	JICA	
		Administration	Water, electricity, phone, internet	200	12	1	2,400	MOEST
Driver			178	12	1	2,136	JICA	
Secretary			1,500	12	1	18,000	JICA	
Office maintenance (Repair etc)			100	12		1,200	JICA	
Office maintenance (Security, cleaning etc)			250	12		3,000	MOEST	
Car maintenance			100	12		1,200	JICA	
Car insurance			600	1	1	600	JICA	
Fuel and oil			250		10	2,500	JICA	
Salary for National Trainers			540	12	4	2,160	MOEST	
Salary for Coordinator			640	12	1	640	MOEST	
Stationary, Postal Fee			Lumpsum			3,000	JICA	
Promotion		Publication of bulletin	Lumpsum			300	JICA	
Total						639,969		
Budget Share			MOEST		178,530			
			JICA		461,439			

4th year (2012) Analysis of Budget								
	Items	Unit USD	Quantity		Total	Responsible Organisation		
			Frequency	persons				
National Level Activities	Sensitization (review) workshops in three regions	Transportation for participants (Air Tickets for NTs and other participants)	200	2	90	36,000	JICA	
		Transportation for NTs and participants (not by air)	100	2	100	20,000	MOEST	
		Allowance for participants	50	2	170	17,000	MOEST	
		Allowance for NTs and SNTs	15	2	19	570	MOEST	
		Car Hire	100	3	2	600	JICA	
		Accommodation	50	1	140	7,000	JICA	
		Meals for NTs & participants	20	2	190	7,600	JICA	
	SMASESS Training for State Trainers	Transportation (by air) for NTs & STs	200	2	49	19,600	JICA	
		Transportation (by car) for NTs & STs	100	2	30	6,000	MOEST	
		Accommodation for NTs & STs	75	14	90	94,500	JICA	
		Meals for NTs & STs	10	14	90	12,600	JICA	
		Materials and kits for participants	Lumpsum			500	JICA	
		Allowance for NTs & STs	15	14	90	18,900	MOEST	
		Air ticket for international flights + insurance (Third Country Experts)	800	1	3	2,400	JICA	
	SMASESS Training for TTI Tutors	Food & accommodation (Third Country Experts)	1,536	1	3	4,608	JICA	
		Transportation (by air) for NTs & TTI tutors	200	2	21	8,400	JICA	
		Transportation (by car) for NTs & TTI tutors	100	2	20	4,000	MOEST	
		Accommodation for NTs & TTI tutors	75	14	41	43,050	JICA	
		Meals for NTs & TTI tutors	10	14	41	5,740	JICA	
		Materials and kits for participants	Lumpsum			250	JICA	
		Allowance for NTs & TTI tutors	15	14	50	10,500	MOEST	
	State Support	Support to 8 States to conduct pilot training	5,000	1	8	40,000	MOEST	
	Activities in Model States	Module	Module development (See ANNEX VIII-2)-6.)				16,360	JICA
		Sensitization workshop	Transportation for participants	20	3	120	7,200	MOEST
			Allowance for participants	15	1	180	2,700	MOEST
			Transportation (by car) for NTs	100	3	5	1,500	MOEST
			Transportation (by air) for NTs and Officers	200	3	6	3,600	JICA
Accommodation for NTs and Officers			75	9	2	1,350	JICA	
Allowance for NTs, STs and Officers			30	6	25	4,500	MOEST	
Meals for NTs & participants			10	3	200	6,000	JICA	
SMASESS Training for Model Teachers		Transportation for STs and model Teachers	20	6	160	19,200	MOEST	
		Transportation for NTs (Car/Air)	800	3		2,400	JICA	
		Food for NTs & Model Teachers	3	21	340	21,420	JICA	
		Materials and kits for participants	1,000	Lumpsum	3	3,000	JICA	
		Allowance for STs	15	21	14	4,410	MOEST	
		Employment of support staff (cooking, cleaning etc)	10	21	2	420	MOEST	
		Initial Cost for venues (e.g. sleeping matless, mosquito nets, bedsheets)	145		510	73,950	JICA	
Monitoring for SMASESS for Model Teachers		Certificate of attendance	3		450	1,350	JICA	
		Experimental equipments for science	Lumpsum		3	1,500	JICA	
		Transportation Fee for NTs by car (2 states)	100	8	2	1,600	JICA	
		Transportation Fee for NTs by air (one state)	200	4	2	1,600	JICA	
		Meal & accommodation	75	15	11	12,375	JICA	
Endline Survey		Allowance for NTs	15	15	4	900	MOEST	
		Local Consultants/ NGO for the monitoring & follow-up	2,000	3	2	12,000	JICA	
Administration		Endline Survey (See ANNEX VIII-2)-6.)				25,900	JICA	
		Allowance for NTs, STs and MOEST officers	15	14	20	4,200	MOEST	
		Water, electricity, phone, internet	200	7	1	1,400	MOEST	
		Driver	178	7	1	1,246	JICA	
		Secretary	1,500	7	1	10,500	JICA	
	Office maintenance (Repair etc)	100	7		700	JICA		
	Office maintenance (Security, cleaning etc)	250	7		1,750	MOEST		
	Car maintenance	100	7		700	JICA		
	Car insurance	600	1	1	600	JICA		
	Fuel and oil	250		10	2,500	JICA		
	Salary for National Trainers	540	7	4	2,160	MOEST		
	Salary for Coordinator	640	7	1	640	MOEST		
	Stationary, Postal Fee	Lumpsum			3,000	JICA		
Promotion	Publication of bulletin	Lumpsum			300	JICA		
Total					614,749			
Budget Share			MOEST		167,950			
			JICA		446,799			

Module development and Needs/ Endline survey					
	Item	Unit Cost (USD)	Quantity	Frequency	Total
Development of training materials	Transportation for NTs of Advisory Team	200	4	2	1,600
	Materials and photocopies	Lumpsum			3,000
	Transportation of Third country expert incl. insurance	800	3	1	2,400
	Food & accomodation (4 NTs of Advisory Team & 3 Third country experts)	1,000	7	1	7,000
	Sub-total (Module development for TOT)				14,000
Development of training materials for the state level	Transportation for NTs or/and STs	200	11	2	4,400
	Transportation for NTs and STs by car	100	7	2	1,400
	Materials and photocopies	Lumpsum			3,000
	Food & accomodation (NTs and STs)	60	18	7	7,560
	Sub-total (Module development for Model Teachers)				16,360
Needs survey	Development of questionnaires incl. printing	Lumpsum			1,000
	Car rental	100	21	3	6,300
	Cost for the third country experts incl. insurance, transportation, accomodation etc.	2,000	3	1	6,000
	Food & accomodation (NTs and STs)	60	30	7	12,600
	Sub-total (Needs survey)				25,900
Endline survey	Development of questionnaires incl. printing	Lumpsum			1,000
	Car rental	100	21	3	6,300
	Cost for the third country experts incl. insurance, transportation, accomodation etc.	2,000	3	1	6,000
	Food & accomodation (NTs and STs)	60	30	7	12,600
	Sub-total (Endline survey)				25,900

南部スーダン教育概要（主に初等教育）

2010年1月作成

1. 教育事情・制度一般

- ・ 教育制度は、初等教育8年、中等教育4年の12年制度となっている。
- ・ 小学校は毎年4月に新学期が始まり12月末で終わる。1月から3月までは学年末休暇となっているものの、統一されておらず、近隣国の学期を使用する学校も少なくない。
- ・ 小学校の内、77%が政府系学校、12%がコミュニティー学校となっている。また、恒久・準恒久の教室は44%であり、屋外が37%、屋根のみが13%、テントが4%となっている。¹
- ・ カリキュラム・シラバスは既に開発済みであるが、一部の学校ではケニア・ウガンダ、エチオピアのものが利用されている。また、教科書の配布状況は科目によって異なっているが、最も配布状況の良い英語・算数についても必要推定数の4分の1にとどまる。²

□南部スーダン教育基礎統計□

初等学校数	3,152
就学児童数	1,327,892
(男)	836,775
(女)	491,117
教員数	26,438
(男)	23,245
(女)	3,193
教師一人当たりの児童数	50.23

出典：EMIS 2008 (Draft)

2. 教育行政

中央の南部スーダン政府教育省（MoEST-GoSS）3は、7つの局（計画予算局、管理・財政局、質の向上・革新局、ジェンダー・社会改革局、一般教育局、高等教育局、試験局）から構成されており、教育政策、指針、標準等の策定及び財政を担当している。教員研修については、質の向上・革新局、及び同局内の教員研修課が担当している。

- ・ 南部スーダン政府の2009年の全体予算(推定)は3,606百万SDG⁴（約1,442百万USドル）で、その内、教育予算(推定)は291百万SDG（約116百万USドル）である。⁵
- ・ 各州には州教育省（MoEST-State）があり、教育省の政策と指針に沿って、初等教育と中等教育を実施する。ただし、州教育省にも大臣がおり、それなりの権限を持っている⁶。各学校は州教育省に属しており、教員の給与は中央教育省から州教育省に対して資金が配賦され、州教育省が

¹ EMIS 2008² EMIS 2008³ 正式には、教育科学技術省（Ministry of Education, Science and Technology, Government of Southern Sudan）⁴ SDG=スーダンポンド、1SDG=0.4USDで算出。⁵ 南部スーダン政府の予算の97%は石油収入によるものであり、そのため石油価格の変動に大きく影響を受ける。⁶ 州の承認なしで中央教育省が勝手に政策や指針を策定することは困難。

郡・Payam 事務所を経由して支払っている。

- ・ 州教育省の下には、郡 (County) 教育事務所、更にその下に Payam 教育事務所があり、各学校を管轄している。各事務所には、所長 (Supervisor)、副所長 (Deputy Supervisor)、視学官 (Inspector) が駐在している。経験を積んだ年長の教員が視学官として学校の教員を監督する形になっており、近代的なモニタリングを行う体制は整っていない。
- ・ 各学校には PTA 的な組織が組織されているとのことであるが、まだ構築段階の時期にあると考えられる。⁷
- ・ マリディにカリキュラム開発センター (Curriculum Development Center : CDC) がカリキュラムの開発などを担当。2006 年人材が配置されたものの、給与の遅配等により人数が減少し、理数科については、それぞれ 2 人程度の配置になっている。
- ・ 現職教員研修の拠点として、南部スーダン全 10 州に郡教育センター (County Education Center : CEC) が整備される計画となっている。既にいくつかの CEC が存在するが、ドナー支援 (MDTF) によって 16 CEC が建設中ないし新たに建設予定である。

3. 教員及び教員教育 (研修)

- ・ 教員の 65%が教員としての訓練を何ら受けてない状況 (以下、このような教員を便宜上『無資格教員』と記載) にある。また、教員の 39%が小学校卒業を卒業したのみの学歴である。⁸
- ・ 地域によってはアラビア語で教育を受けた教員が大勢を占め、英語での教育に困難を感じている教員が多い。⁹
- ・ 政策上、教員は全ての教科を教えることになっているが、実際は多くの教員が全ての教科を教えられない実態がある。従って、各学校において理数科を教えることができる教員は限られており、実質的に理数科担当教員のようにになっている。
- ・ 教員の給料は教育省の給与と同じく、南部スーダン公務員給与体系の等級に従って支払が行われている。正規雇用の一般教員の給与は平均月 220 ドル程度であるが、給与遅配が多く、ほとんど支払われていない状況である。南部スーダンは物価が高いことから、概して教員の生活は厳しい。
- ・ 小学校教員を養成する機関として、教員養成校 (Teacher Training Institute : TTI) が存在する。中等教育修了者を対象に 2 年、初等教育修了者を対象に 4 年の教員養成課程があるが、現在 2 年間の課程が機能しているのみである。本 2 年過程を終了すれば、初等教員資格 (Certificate of Primary Education) が与えられる。国立教員養成校計画として、マリディ、アラビ、アラムウェー、マラカル、パニャゴール、パンリエット校の 6 校が計画されているが、現在稼働しているのは、マリディ、アラビ、アラムウェー(2009 年末より稼働)の 3 校のみである。同 2 校の教育規模については、1 校につき 1 学年 80 人、2 学年で 160 人規模である。教員も各校 12 人程度と規模は小さい。全教員の内、教員養成校卒業資格を持つ者は 1.7%、大学にて Diploma を取得した者は 1.7%にとどまる。¹⁰なお、国立教員養成校の他に、州立教員養成センター (Teacher Training Center : TTC) があるものの、多くが NGO によって運営されており、詳しい実態については教育省も把握して

⁷ UNICEF が PTA 研修を実施予定。また、全国的な学校運営体制の講師区を目指した事業を計画している。

⁸ EMIS 2008

⁹ アッパー・ナイル地方やハルツーム政府の守備隊駐屯都市 (garrison town) であったマラカル、ワウ、ジュバなど。

¹⁰ EMIS 2008

おらず、国立・州立の区別は未だ明確ではない。

- ・ これまで南部スーダンで実施されてきた現職教員研修として、教員資格取得プログラム（「In-Service Teacher Training」）、Fast Track Program（FTP）、集中英語研修がある。

■教員資格取得プログラム（「In-Service Teacher Training」）

CPA 以前から現職教員のための教員資格取得プログラム（以下、『現職教員研修』）が存在したが、CPA 後は NGO による実施のみが続いていた。（現在、MDTF を中心に支援が行われている。次章参照）

（目的）現職教員に新しいカリキュラムに応じた南部スーダンの教育資格を取得させる。

（対象）初等教員資格を取得していない現職教員

（内容）4 年間の遠隔教育、郡教育センター（GEC）でスクーリング

（備考）教員養成校（TTI）と統一カリキュラムを採用。4 年間の教材は存在するが、1 年次のみ改訂済み。

■Fast Track Program（FTP）

（目的）資格を持たない現職の教員に基本的な教授技術を教える。¹¹

（対象）これまで約 1200 人が受講

（方法）教育省のチューターが州レベルのチューターに研修を施し、さらに州チューターが各州 2 郡を対象として教員研修を実施。を選出。

（備考）UNICEF や MDTF が資金援助。USAID は TA 派遣による支援。

■ 集中英語研修

（目的）現職教員に英語による授業を可能とさせる

（対象）アラビア語で教育を受けた教員等を対象

（方法）平日の授業終了後に拠点となる学校で実施。UNICEF の資金提供を受けた NGO 団体、Windle Trust 等が実施。

- ・ NGO 団体（ACROSS、ADRA、Save the Children など）が、地域限定的にいくつかの州で教員資格取得プログラムを実施している。これらの活動は教育省や州政府として計画的に行っているものではないが、どの団体も教育省が作成した教員研修モジュールを使用しており、研修内容にそれほど差異はないことになっている。
- ・ 他の現職教員研修としては UNICEF の資金提供を受けた NGO 団体、Windle Trust が実施する現職教員英語集中研修があるが、英語運用能力の向上を目指したもので、教員資格取得プログラムと結びついているものではない。
- ・ 高等教育機関としてジュバ大学があり、教育学部も備えている。大学は歴史的にハルツームの統一政府との関係が強く、これまで南部スーダン政府とはやや距離を置いていたが、2009 年後半より、教育省とジュバ大学との協力関係の構築が試みられている。なお、ジュバ大学の卒業生は中等教育の教員となる。

¹¹当初の目的は、教員の不足に対応するため、小学校教員になることを希望する中等教育修了者に基本的な教授技術を教えることになっていましたが、実際には、参加者が資格を持たない現職教員となった経緯がある。

4. ドナーの支援状況（教員研修／教育を中心に）

- ・ 多くの団体が教員研修・教育を優先課題として掲げている。
- ・ 援助調整枠組みの最上位会合として、教育復興開発フォーラム（Education Reconstruction and Development Forum : ERDF）が設置されている。教育省関係者やドナー機関・NGO 関係者ら 200 人程度参加。
- ・ 以下、主なドナーの活動を記載。

■UNICEF

90 年代より南部スーダンの教育支援に携わっており、現在に至るまでリーディング・ドナーとして教育省を支援。2006 年 4 月より「Go to School Initiative」の下、Rapid Assessment of Learning Space (RALS) の実施、教材の配布、学校建設、FTP による教員養成研修を支援。現在、「Child-friendly School」の推進に加えて、教員教育にも注力しており、ルンベックにある Southern Sudan Institute of Education (SSIoE) に対する支援や UHNCR が建設している教員養成校 (TTI) のソフト・コンポーネントに対する支援に着手している。

■UNHCR

難民や国内避難民に関する側面から教育分野を支援。ケニアのカクマ難民キャンプにおいて教員養成校を運営していた経緯から、教員養成校の支援にもかかわっている。現在、難民や国内避難民の帰還促進として、教員資格を有している難民を教員養成校の教官として採用する支援を行っている¹²。また、日本政府のコミュニティー・開発支援無償によるジュバ及びアウエイルで教員養成校（計 2 校）及び附属小学校（計 5 校）を建設中。

■世銀・スーダン復興信託基金（Multi-Donor Trust Fund : MDTF）

世銀が管理する基金で、巨大な教育復興プロジェクト（総予算約 473 百万ドル）を支援。フェーズ I として、ア）ノンフォーマル教育、イ）現職教員研修、ウ）行政官能力強化、エ）教室建設の 4 つのコンポーネントを計画しているが、様々な事情により、計画の実施が大幅に遅れている状況¹³。

現職教員研修については、①無資格教員のうち 2000 人を対象に 4 年間の教員資格取得プログラム（既出）の第 1 年次分を実施、②現職教員 500 人及び中等教育新卒者 500 人の計 1000 人に対して教員養成校の 2 年コースを実施（①②併せて 3000 人に研修実施）予定。研修実施のために、郡教育センター（CEC）の整備、職員の雇用、既存の現職教員研修教材の改訂・印刷なども実施。

■USAID

テクニカル・アドバイザー（TA）の派遣により、MDTF によるプロジェクトを支援。教育省やカリキュラム開発センターにも TA を派遣している。現在は現職教員研修分野から、教師教育の資格及び資格付与試験の分野に支援の重点を移そうとしている。

¹² ただし、計画の実施が大幅に遅れているとのこと。

¹³ 当初 2006 年－2008 年の 3 年間を実施機関としていたが、2009 年 9 月末まで延長され、さらに 18 ヶ月の延長（2011 年 3 月末）が検討されている。なお、フェーズ II では教育セクターに対する支援が盛り込まれないこととなった。

【本資料の作成にあたり参照した資料】

- EMIS Education Statistics 2008 (Draft) <The Ministry of Education, Science and Technology, The Government of Southern Sudan>
 - 「2007年度スーダン国復興支援プロジェクト形成調査」現地調査概要報告（教育）
<財団法人国際開発センター 磯野哲郎氏 作成>
 - 「スーダン国南部スーダン理数科分野現職教員研修支援計画専門家派遣」業務完了報告書
 - 「スーダン国南部スーダン理数科分野現職教員研修支援計画フォローアップ協力」業務完了報告書
 - 「スーダン国南部スーダン理数科分野現職教員研修支援計画 2009年フォローアップ協力」報告書
- <以上、3報告書すべて。株式会社フジタプランニング 中村由輝氏 作成>